

令和 6 年 度

主要施策の成果に関する調書

観光・文化スポーツ部

目 次

1 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現	3
(1) 多文化共生の実現	3
① 日本人と外国人が共生する地域づくり	3
4 地域を愛し世界に通用する人材の育成、文化・スポーツの振興	5
(1) 鹿児島の発展を牽引する人材の育成	5
① 交流会議等を核とした国際交流の充実	5
(2) 文化の薫り高いふるさとかがしまの形成	13
① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実	13
② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用	18
③ 文化芸術に係る人材の育成	21
④ 文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信	22
(3) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興	23
① スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化	23
② 良質なスポーツ環境の提供	25
11 観光の「稼ぐ力」の向上	27
(1) 国内外における戦略的なPRの展開	27
① 多彩な魅力を活用したPRの展開	27
② Web等を活用したプロモーションの展開	28
(2) 魅力ある癒やしの観光地の形成	30
① 地域の観光資源の活用及び創出等	30
② 観光関係施設等の整備	31
(3) 戦略的な誘客の展開	33
① 観光客の来訪の促進等	33
② 外国人観光客の来訪の促進等	45
③ スポーツキャンプ等の誘致	53
(4) オール鹿児島でのおもてなしの推進	56
① 全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備	56
16 原油価格・物価高騰等総合緊急対策	58
(1) 原油価格・物価高騰等総合緊急対策	58

1 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会の実現

(1) 多文化共生の実現

① 日本人と外国人が共生する地域づくり

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
国 際 交 流 促 進 費	38,493	—	32,000	6,493	38,462	—	32,000	6,462
内 訳	国際交流プラザ設置事業	—	10,000	5,202	15,202	—	10,000	5,202
	かごしま留学生支援事業	—	2,000	445	2,414	—	2,000	414
	鹿児島県国際交流センター管理運営事業	—	20,000	846	20,846	—	20,000	846
計	38,493	—	32,000	6,493	38,462	—	32,000	6,462

(1) 国際交流プラザ設置事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

県民と外国人の相互理解を深めるため、かごしま県民交流センター内に設置する国際交流プラザにおいて、県民・外国人・国際交流団体へ交流の場や情報の提供を行うほか、各種相談対応、語学等に関する研修を行う。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

諸外国の生活・文化等の情報提供、県民からの海外渡航等に関する相談への対応、外国人による語学・文化講座等を実施した。

<利用実績>

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
国際交流プラザ利用者	11,509 人	12,330 人	9,680 人
相 談 件 数	57 件	19 件	58 件

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

県民向けの各種情報の提供・発信や相談受付のほか、外国語講座や文化講座等の実施を通じて、県民の国際理解が深まった。

また、県民と在留外国人との交流が促進されることにより、多文化共生社会の実現の促進が図られた。

(2) かごしま留学生支援事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

私費外国人留学生の勉学・生活の安定化と将来の人的ネットワークの形成に資するため、県内大学等に在籍する留学生に対し、奨学金を交付する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

県内在住の私費外国人留学生 10 人に、奨学金（月額 20 千円×12 か月）を交付した。

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

留学生の勉学・生活の安定化が図られるとともに、国際交流イベント等への参加が促進されることにより、将来の人的ネットワーク構築に寄与した。

(3) 鹿児島県国際交流センター管理運営事業（国際交流課）（地方創生関連事業）

<1> 施策の目的

留学生等の宿泊施設である鹿児島県国際交流センターの管理運営を行うことにより、留学生等の相互交流や留学生等と県民との交流を通じ、国際社会に貢献する人材の育成及び国際相互理解の促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

かごしま国際交流センターの維持管理を行い、留学生等の相互交流や県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材育成、国際相互理解の促進を図った。

ア 利用実績

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
入 居 者 数	85 人（うち外国人 73 人）	88 人（うち外国人 80 人）	98 人（うち外国人 89 人）

イ 指定管理者

鹿児島国際交流促進センター

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

関係団体と連携して交流事業や研修事業を実施し、人材育成及び国際相互理解の促進が図られた。

4 地域を愛し世界に通用する人材の育成，文化・スポーツの振興

(1) 鹿児島県の発展を牽引する人材の育成

① 交流会議等を核とした国際交流の充実

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
国 際 交 流 促 進 費	207,852	—	114,040	93,812	191,848	—	114,012	77,836
内 国 際 交 流 企 画 管 理 事 業	24,381	—	24,000	381	24,355	—	24,000	355
在外県人会等育成事業	1,126	—	—	1,126	1,006	—	—	1,006
渉外事務事業	4,921	—	—	4,921	3,937	—	—	3,937
アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業	47,105	—	44,000	3,105	47,105	—	44,000	3,105
外国青年招致事業	19,385	—	—	19,385	18,725	—	—	18,725
海外技術協力等推進事業	14,029	—	—	14,029	13,073	—	—	13,073
アジア地域との交流	3,292	—	—	3,292	1,395	—	—	1,395
アジアかごしまクラブ形成事業	956	—	—	956	912	—	—	912
渡航事務事業	46,539	—	46,040	499	46,228	—	46,012	216
清華大学との交流促進事業	1,559	—	—	1,559	448	—	—	448
英国自治体との交流促進事業	5,299	—	—	5,299	4,853	—	—	4,853
米国ジョージア州との交流	778	—	—	778	83	—	—	83
第24回鹿児島・香港交流会議	15,770	—	—	15,770	15,592	—	—	15,592
南加県人会創立125周年記念祝賀会参加事業	11,048	—	—	11,048	8,225	—	—	8,225
台湾屏東県との交流促進事業	11,664	—	—	11,664	5,911	—	—	5,911
就 職 促 進 費	6,553	1,401	—	5,152	—	—	—	—
内 訳 ベトナム人材受入・交流促進事業	6,553	1,401	—	5,152	—	—	—	—
計	214,405	1,401	114,040	98,964	191,848	—	114,012	77,836

(1) 国際交流企画管理事業（国際交流課）

<1> 施策の目的

国際交流施策の総合的な企画立案を行うとともに、都道府県、九州各県及び県内市町村との連絡調整や意見交換を行い、国際交流の推進を図る。

また、地方公共団体の共同組織として設立された（一財）自治体国際化協会の運営に要する経費の一部を負担し、地域レベルの国際化推進等を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 国際交流推進連絡

庁内における各種国際交流事業の総合的な企画・連絡調整を行うとともに、今後の国際交流を幅広く推進するため、各都道府県・県内国際交流団体との情報共有を行った。

(ア) 地域国際化連絡会議（総務省）

a 日 程 令和6年7月11日

b 場 所 トキハ会館（大分市）

c 会議概要 九州各県が国際交流に係る主要事業、取組状況等を報告し、質疑応答を行った。

(イ) 多文化共生地域会議（総務省）

a 日 程 令和6年7月12日

b 場 所 トキハ会館（大分市）

c 会議概要

(a) 地域国際化施策、多文化共生施策の説明（総務省・出入国在留管理庁・（一社）自治体国際化協会・（独）国際協力機構）

(b) 基調講演 演題 「やさしい日本語から考える多文化共生社会」

講師 立命館アジア太平洋大学 言語教育センター教授 本田 明子 氏

(c) 事例紹介 事例 「大分県における地域国際化協会について、おおいた国際交流プラザの取組」

講師 おおいた国際交流プラザ 次長兼国際交流課長 橋本 昌樹 氏

イ （一財）自治体国際化協会負担金

海外における地方公共団体の国際交流推進拠点の整備及び地域レベルの国際化推進等に係る負担金として、同協会に対し、24,000千円を支払った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

各都道府県、九州各県、県内市町村及び県内国際交流団体との相互連携を深め、国際交流施策の円滑な推進が図られた。

(2) 在外県人会等育成事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

鹿児島県海外移住家族会や在外県人会等と協力して、本県出身移住者の援助促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

海外移住者の安定化を図るため、（公財）鹿児島県国際交流協会及び鹿児島県海外移住家族会の事業に対し助成を行うとともに、関係機関や在外県人会等との連絡調整を行った。

ア 在外県人会等育成費補助金

- ・（公財）鹿児島県国際交流協会に対し、補助金を交付（872千円）
- ・同協会が3在外県人会と業務委託契約し、移住者の援護指導、消息不明者の調査、子弟の育成・指導等を実施（ブラジル 560千円、アルゼンチン 184千円、ペルー104千円、事務費 24千円）

イ 鹿児島県海外移住家族会協力活動費補助金

- ・鹿児島県海外移住家族会に対し、補助金を交付（100千円）
（在外県人会に係る情報提供、親善交流、移住者援護等）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

在外県人会による現地での活動が促進され、海外における本県の認知度向上が図られた。

(3) 渉外事務事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

関係国・地域との友好を深め、県民の国際理解・友好親善等を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 外国大使・総領事、使節団等の来鹿に伴う接遇及び通訳、公文書等の翻訳を行った。

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
接 遇 及 び 通 訳	20 件	17 件	9 件
公文書等の翻訳	71 件	94 件	50 件

イ 北方領土返還要求運動に係る広報等の協力や、青年海外協力隊活動の支援を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

関係国・地域との相互理解及び友好関係の促進が図られた。

また、翻訳により、県の海外交流の促進、多言語でのPR等に寄与した。

(4) アジア・太平洋農村研修センター管理運営事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

アジアを中心とする海外からの研修生の受入れや、これらの人々と県民との交流を通じた国際理解の増進、生活・文化学習など多様な機能を有するアジア・太平洋農村研修センターの円滑な管理運営を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

アジア・太平洋農村研修センターの維持管理及び国際交流・理解に係る研修等を実施した。

ア 利用実績

	R4 年度	R5 年度	R6 年度
利 用 者 数	7,136 人 (うち外国人 440 人)	11,349 人 (うち外国 1,983 人)	12,035 人 (うち外国人 1,826 人)
研 修 団 体 数	109 団体	144 団体	125 団体

イ 指定管理者 鹿児島国際交流促進センター

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県民や在留外国人による研修利用がなされたことにより、交流を通じた国際理解の促進が図られた。

(5) 外国青年招致事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

本県における外国語教育の充実及び地域レベルでの国際交流の促進に資するため、語学指導や国際交流活動を行う外国青年を招致する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

国等の「語学指導等を行う外国青年招致事業（昭和 62 年度～）」により、県及び市町村に国際交流員（C I R）18 人、外国語指導助手（A L T）121 人の外国青年を配置した。

ア 国際交流員（C I R）

(ア) 人 数 18 人

(イ) 出身国 アメリカ、シンガポール、中国、韓国、マレーシア、ミャンマー、ベトナム

(ウ) 配属先 県 3 人、鹿児島市 3 人、鹿屋市 1 人、薩摩川内市 1 人、日置市 2 人、霧島市 2 人、奄美市 1 人、大崎町 2 人、錦江町 1 人、肝付町 1 人、徳之島町 1 人

イ 外国語指導助手（A L T）

(ア) 人 数 121 人

(イ) 出身国 アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、アイルランド、南アフリカ、ジャマイカ、トリニダード・トバゴ、フィリピン

(ウ) 配属先 県教育委員会 38 人、市町村教育委員会 83 人（26 市町村）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県及び市町村に配置された国際交流員（C I R）及び外国語指導助手（A L T）を活用することにより、国際交流の推進や外国語教育の質の向上が図られた。

（6）海外技術協力等推進事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

開発途上国等から技術研修員を受け入れ、その国の発展と繁栄に貢献し得る人材を育成するとともに、相互の経済・文化の交流促進に寄与する。

また、南米における本県出身移住者の子弟を県内大学の留学生として受け入れ、本県と移住先国との緊密化に貢献する有為な人材を育成する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

海外技術研修員及び県費留学生として、各３人を受け入れた。

ア 海外技術研修員

（ア）国籍及び人数 ブラジル１人、アルゼンチン１人、中国（江蘇省）１人 計３人

（イ）研 修 種 目 アニメーション、ウェブ開発・ウェブデザイン、環境保全

イ 県費留学生

（ア）国籍及び人数 ブラジル２人、ペルー１人 計３人

（イ）留 学 先 鹿児島大学医学部、鹿児島大学農学部、鹿児島大学工学部

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

海外技術研修員及び県費留学生が県内で研修及び留学を行うことにより、県民との交流が生じ、多文化共生の推進に寄与したことに加え、帰国後の県人会活動への積極的な参加等により、次世代への交流の継承が行われた。

（7）アジア地域との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

国際化の進展に対応するため、アジアに広がる国際交流ネットワークの形成を目指し、韓国全北特別自治道、中国江蘇省、台湾屏東県との更なる交流の促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 第27回鹿児島県・江蘇省交流協議会

鹿児島県と江蘇省との友好交流の関係を強化するため、観光・経済分野における交流の一層の充実・拡大など、今後の交流の在り方等について、中国にて協議会を開催した。

（ア）日 程 令和7年1月15日

（イ）場 所 中国

（ウ）訪 問 者 鹿児島県観光・文化スポーツ部次長ほか

イ 全北研究院の来鹿

全北特別自治道（旧全羅北道）の全北研究院の研究員２名が来鹿し、農業農村活性化のための関連施策に係る調査等を行った。

（ア）日 程 令和6年7月10日～13日

（イ）訪 問 者 全北研究院の研究員 ２名

（ウ）内 容 県の取組説明（農政課、かごしまの食輸出・ブランド戦略室、農村振興課、経営技術課）
視察（鹿児島県や宮崎県内の関係施設等）

ウ 台湾屏東県との交流

台湾屏東県との交流促進のため、知事をトップとする訪問団の相互派遣・受入れ等を行った。

（ア）知事の相互訪問

ａ 屏東県知事の訪問

（a）日 程 令和6年9月3日～8日

(b) 内 容 知事表敬，夕食懇談会，県内視察

(c) 訪 問 者 周春米 屏東県知事，陳銘俊 台北駐福岡経済文化弁事処長 ほか

b 本県知事の訪問

(a) 日 程 令和7年1月11日～14日

(b) 内 容 屏東県内視察（六堆客家文化園区，看海美術館等），夕食懇談会，知事との意見交換，屏東ラ
ンタンフェスティバル点灯式出席など

(c) 訪 問 者 知事，県議会議長，県議会議員，経済団体代表 ほか

(i) P R イベント等の実施

a 第17回かごしまアジア青少年芸術祭（アジアん鹿児島）

(a) 日 程 令和6年10月20日

(b) 場 所 鹿児島市中央公園

(c) 内 容 鹿児島県の国際交流ブースを出展し，屏東県の観光特産品等をP R

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

中国江蘇省及び韓国全北特別自治道との交流については，長年にわたり続けてきた友好交流の継続及び今後の更なる交流の促進について確認された。

台湾屏東県との交流については，両県知事をトップとする訪問団の相互派遣・受入れを実施したことにより交流の促進が図られ，また意見交換等を通して今後の交流促進について確認された。

(8) アジアかごしまクラブ形成事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

アジア地域との様々な分野での交流を拡大するため，これまでの交流実績により培ってきた貴重な財産である人的ネットワークの形成を促進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域との人的ネットワークの形成を推進するために設立した香港，シンガポール，韓国全羅北道（現全北特別自治道）のアジアかごしまクラブへの活動助成を行った。

＜クラブの状況＞（各年5月1日現在）

（単位：人）

ク ラ ブ 名	会 員 数			
	設立時	R4	R5	R6
香 港 か ご し ま ク ラ ブ	173	400	400	400
かごしまクラブシンガポール	41	130	130	130
全 羅 北 道 か ご し ま ク ラ ブ	42	218	218	220

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

各地のかごしまクラブの活動により，人的交流などが円滑に促進された。

(9) 渡航事務事業（国際交流課）

＜1＞ 施策の目的

旅券法の規定により，国からの法定受託事務である旅券の発給申請の受理，作成，交付等の事務を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 旅券の発給申請の受理，作成，交付等の事務を処理した。

	申請件数	対前年比	交付件数	対前年比
R4 年度	8,905 件	330.4%	8,271 件	321.0%
R5 年度	21,678 件	243.4%	21,580 件	260.9%
R6 年度	22,762 件	105.0%	23,002 件	106.6%

イ 県民サービスの一層の向上を図るため、「鹿児島県事務処理の特例に関する条例」に基づき、旅券の発給申請の受理、交付等の事務を権限移譲している。

＜権限移譲市町村＞

開 始 時 期	移 譲 先 市 町 村	市町村数
平成 19 年 4 月 1 日	与論町	1
平成 20 年 4 月 1 日	出水市, 阿久根市, 霧島市	3
平成 22 年 4 月 1 日	鹿屋市, 西之表市, 伊佐市, 錦江町, 南大隅町, 中種子町, 南種子町, 大和村, 徳之島町	9
平成 23 年 4 月 1 日	指宿市, 垂水市, 南九州市, さつま町, 長島町, 湧水町, 宇検村, 伊仙町	8
平成 24 年 4 月 1 日	志布志市, 大崎町, 肝付町, 天城町, 和泊町, 知名町	6
平成 25 年 4 月 1 日	枕崎市, 曾於市, 東串良町, 瀬戸内町, 喜界町	5
平成 26 年 4 月 1 日	日置市, 南さつま市, 奄美市, 屋久島町, 龍郷町	5
平成 27 年 4 月 1 日	いちき串木野市	1
平成 29 年 4 月 1 日	始良市	1
計		39

ウ 旅券申請のデジタル化に伴い、令和 7 年 3 月 24 日から、県及び全ての市町村旅券窓口でオンライン申請の受付を開始した。また、同日から運用を開始した法務省の戸籍情報システムとの連携により、オンライン申請時には戸籍謄本の窓口提出の省略化が実現された。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

適切な事務を行うことにより、円滑かつ正確な旅券の発給が行われた。

(10) 清華大学との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

平成 25 年 8 月に締結した清華大学との包括協定（MOU）に基づき、経済、青少年、学術などの分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

鹿児島大学と連携して清華大学学生の受入れを行った。

また、鹿児島大学総合教育機構稲盛アカデミーと清華大学日本研究センターの覚書締結立会いのため来日した清華大学書記と知事との会談を実施した。

ア 清華大学学生の受入れ

(ア) 日 程 令和 6 年 7 月 11 日～20 日

(イ) 内 容 学生交流、県内視察、知事表敬等

(ウ) 訪 問 者 清華大学学生 15 名 ほか 計 18 名

イ 清華大学書記と知事との会談

(ア) 日 程 令和 6 年 7 月 30 日

(イ) 場 所 ホテルニューオータニ東京

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

今後の更なる交流の促進が確認された。

(11) 英国自治体との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

友好協定を締結している英国自治体との間で、首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、未来の鹿児島を担うグローバルな人材の育成を図るとともに、鹿児島と英国との更なる交流を促進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 英国自治体との交流

友好協定を締結している英国自治体との間で、首長の訪問受入れや青少年等の派遣・受入れを行い、交流の促進を図ることとしていたが、令和6年度の来日はなかった。

イ 薩摩スチューデントの派遣

本県高校生2人（引率教員1人）を英国教育体験プログラム参加のため、英国に派遣した。

（ア）日 程 令和6年7月23日～8月5日

（イ）内 容 UCL（University College London）講師陣による講義・ワークショップ、研究者との意見交換、UCL Grand Challenge Workshop、マンチェスター市・ロンドンカムデン区への表敬訪問 等

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

本県高校生が英国教育体験プログラムに参加するとともに、友好協定を締結している英国自治体を表敬訪問し、グローバルな人材の育成及び交流の促進が図られた。

（12）米国ジョージア州との交流（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

昭和41年、本県と姉妹盟約を結んだ米国ジョージア州との間で、さらなる交流促進に向けた取組を行い、両県州の親善関係を強化していく。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

米国ジョージア州商務省日本事務所代表ジョセフハントマン氏、米国ジョージア州経済開発局メリッサタケウチ氏を迎え、「ジョージア州紹介セミナー」を開催した。

ア 日 程 令和6年11月16日

イ 場 所 鹿児島県庁2階県政広報室

ウ 内 容 米国ジョージア州に関する紹介セミナー

※なお、米国ジョージア州知事等の受入れを予定していたが、州知事の来日はなかった。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県民の米国ジョージア州への理解が深まり、同州との交流促進が図られた。

（13）第24回鹿児島・香港交流会議（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

アジアの貿易・金融の中心地として目覚ましい発展を遂げている香港との各般にわたる交流を促進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

アジア地域における国際ビジネスの拠点となっている香港との各般にわたる交流を促進するため、第24回鹿児島・香港交流会議を香港で開催した。

ア 日 程 令和6年11月6日～9日

イ 場 所 香港

ウ 内 容 ラウンド・テーブル・ミーティング、知事主催レセプション、関連事業（観光セミナー、県産品フェア等）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

経済交流、観光交流、青少年交流、芸術文化交流など、今後の具体的な交流プログラム7項目について合意がなされた。

（14）南加県人会創立125周年記念祝賀会参加事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

南加県人会創立125周年記念式典等に参加し、関係者の永年の御労苦をねぎらい、友好親善を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

南加県人会創立125周年記念式典に参加したほか、南加鹿児島県人会先亡者追悼法要や全米日系人博物館訪問等を行った。

ア 日 程 令和6年10月24日～29日

イ 場 所 米国ロサンゼルス

ウ 実施内容 創立125周年記念式典への参加，先亡者追悼法要，全米日系人博物館訪問等

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

米国における日系社会の礎を築いた本県出身者等との交流を深め，絆を強めることができた。

（15）台湾屏東県との交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

台湾屏東県との交流関係の構築及び今後のさらなる交流促進のため，知事をトップとする訪問団の相互派遣・受入れ等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 知事の相互訪問

（ア）屏東県知事の訪問

a 日 程 令和6年9月3日～8日

b 内 容 知事表敬，夕食懇談会，県内視察

c 訪 問 者 周春米 屏東県知事，陳銘俊 台北駐福岡経済文化弁事処長 ほか

（イ）本県知事の訪問

a 日 程 令和7年1月11日～14日

b 内 容 屏東県内視察（六堆客家文化園區，看海美術館等），夕食懇談会，知事との意見交換，屏東ランタンフェスティバル点灯式出席など

c 訪 問 者 知事，県議会議長，県議会議員，経済団体代表 ほか

イ P R イベント等の実施

（ア）第17回かごしまアジア青少年芸術祭（アジアン鹿児島）

a 日 程 令和6年10月20日

b 場 所 鹿児島市中央公園

c 内 容 鹿児島県の国際交流ブースを出展し，屏東県の観光特産品等をP R

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

台湾屏東県との交流については，両県知事をトップとする訪問団の相互派遣・受入れを実施したことにより交流の促進が図られ，また意見交換等を通して今後の交流促進について確認された。

（16）ベトナム人材受入・交流促進事業（国際交流課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県に多くの人材を送り出しているベトナムとの人的・経済的交流を促進するため，駐日ベトナム大使館をはじめ，関係機関と連携し，同国との関係を強化するとともに，ハイズオン省との連携協定に基づき，相互に訪問団の派遣と受入を行い，相互交流を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ハイズオン省から訪問団を受け入れる予定であったが，ベトナムにおける政府及び省等の組織再編や，省・市再編等により，ハイズオン省側の調整がつかず，事業実施に至らなかった。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

令和6年度の施策の実施はなかった。

(2)文化の薫り高いふるさとかがしまの形成

① 文化芸術の創造活動の促進と鑑賞機会の充実

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	27,311	—	19,632	7,679	26,147	—	18,639	7,508
内 訳	青少年のための芸術鑑賞事業	2,514	—	2,514	2,508	—	—	2,508
	文化の薫り高いかがしま形成事業	12,032	—	12,032	11,063	—	11,063	—
	「県民の日 7.14」記念事業	1,825	—	1,825	1,738	—	—	1,738
	奄美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）	9,915	—	7,600	9,838	—	7,576	2,262
	かがしま文化芸術活動促進事業	1,025	—	1,025	1,000	—	—	1,000
文 化 施 設 費	690,003	—	589,314	100,689	587,266	4,956	500,317	81,993
内 訳	文化施設活性化事業	420,120	—	356,314	416,474	4,956	356,517	55,001
	文化施設整備事業	269,883	—	233,000	170,792	—	143,800	26,992
計	717,314	—	608,946	108,368	613,413	4,956	518,956	89,501

文化施設整備事業 翌年度への繰越額 98,793 千円

(1) 青少年のための芸術鑑賞事業（文化振興課）

<1> 施策の目的

県内各地において、小・中学校及び特別支援学校の児童生徒等を対象に、優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に関する興味・関心を喚起するとともに、芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養に資する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 内 容

器楽、声楽、邦楽、バレエ、日本舞踊

イ 公演数及び鑑賞者数

年度	公演数	鑑賞者数
R4	9 公演	814 人
R5	9 公演	1,497 人
R6	9 公演	2,338 人

<3> 施策の実施による成果(アウトカム)

県内各地の児童生徒等に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

(2) 文化の薫り高いかがしま形成事業（文化振興課）〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

県内の文化芸術活動のうち、①県民の身近な場所での文化芸術鑑賞機会の提供、②活動員の高齢化が進む団体の次世代への活動継承、③観光、まちづくり等との連携及び④国内外で活躍できる若手アーティストや文化芸術活動の指導者などの人材の育成に資する取組に対し助成を行う。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

ア 鑑賞機会提供支援（補助率：2分の1以内 上限 500 千円）

- ・ 文化芸術に触れる機会の少ない地域において文化芸術の鑑賞機会を提供する取組

- 子どもたちの文化芸術活動や鑑賞機会の充実にに向けた取組

応募数	助成数	助成額
31 件	20 件	6,450 千円

- イ 活動継承支援（補助率：2 分の 1 以内 上限 300 千円）

活動員の減少や高齢化が進む団体等が活動継承を図る取組

応募数	助成数	助成額
0 件	0 件	－千円

- ウ 観光、まちづくり等との連携支援（補助率：2 分の 1 以内 上限 500 千円）

観光、まちづくりと連携した文化芸術の振興に寄与する活動のうち、新規性及び集客効果等が見込まれる取組

応募数	助成数	助成額
10 件	5 件	2,078 千円

- エ 人材育成支援

- (ア) 国内外で活躍する人材育成を行う取組（補助率：2 分の 1 以内 上限 500 千円）

県内で文化芸術活動を行う人材を、国内外で活躍する人材へと育成するための取組

応募数	助成数	助成額
6 件	3 件	1,490 千円

- (イ) 自身の技術の向上を図る取組（補助率：3 分の 2 以内 上限 500 千円）

国内外で活躍を目指す若者が、コンテストや講習会への参加等により、自身の技術向上を図る取組

応募数	助成数	助成額
4 件	3 件	833 千円

- (ウ) 自身の技術の向上を図る取組（補助率：2 分の 1 以内 上限 100 千円）

文化芸術活動を支える指導者やスタッフが、講習会への参加等により、自身のスキルアップを図るための取組

応募数	助成数	助成額
1 件	0 件	－千円

<3> 施策の実施による成果(アウカム)

県民の文化芸術活動や鑑賞機会等の充実に資することができた。また、県内の人材育成を図ることができた。

- (3) 「県民の日 7.14」記念事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

「県民の日（7 月 14 日）」が、ふるさとを愛する心を育むとともに、県民一人ひとりが自信と誇りにあふれる、より豊かな鹿児島県の未来について考える日となるよう、関連事業を実施する。

<2> 施策の実施状況(アウトプット)

県民の日の認知度向上

ア 記念イベントの実施

- (ア) 期 日 令和 6 年 7 月 14 日

- (イ) 場 所 S S プラザせんだい

- (ウ) 内 容 ミニコンサート、文科省選定映画の上映、絵画作品・薩摩川内市文化財の展示等

- (エ) 参加者数 344 人

- イ 県有施設の入館・入園料の無料化（7 月 14 日）（単位：人）

施設名	入場者数
歴史・美術センター黎明館	553
霧島アートの森	327
奄美パーク	332
屋久島環境文化村センター	56

フラワーパークかごしま	287
県立博物館プラネタリウム	92
上野原縄文の森	—
計	1,647

※令和6年度は展示館有料入館ゾーンがリニューアル中であったため、上野原縄文の森は無料化対象外。

ウ 市町村及び民間文化施設の取組

43市町村及び民間の9文化施設において、入館料等の無料化やイベント等が実施された。

エ 学校における取組

県内の約7割の小・中・高校において、鹿児島県の歴史や文化に関する書籍の展示や県民の日に関連した授業などの取組が行われた。

オ 県シンボルマークカラー（青色系統色）による県下一斉ライトアップの実施

・公共施設など 10施設

カ 「県民の日」にちなんだ商品やサービスの提供

・ホテル、飲食店、旅行業者など 101店舗等

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県内の小・中・高校等の児童・生徒など、県民に一定の周知が図られた。

（4）奄美群島歴史・文化資源保全・魅力発信事業（ほこらしや奄美音楽祭開催事業）（文化振興課）
（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

世界自然遺産に登録された奄美の独自の文化である島唄の魅力を発信することにより、奄美の自然や文化に対する理解を深める。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 公演名：ほこらしや奄美音楽祭

イ 開催日：令和7年2月9日

ウ 開催地：奄美市（奄美川商ホール）

エ 内容：オーケストラによるクラシック演奏、島唄・三味線演奏、島唄とオーケストラの共演

（ア）コンサート

入場者数 828人

（イ）地域との交流

・児童・生徒等を対象としたクリニックの実施

参加者数 76人

・ミニコンサートの実施

入場者数 245人

・出演者による島唄ワークショップの実施

参加者数 28人

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

クラシック曲や島唄の魅力を発信することで、文化芸術への関心を高め、奄美の自然や文化への理解の促進を図ることができた。併せて来島したオーケストラ団員と地域との交流を図ることができた。

（5）かごしま文化芸術活動促進事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

県民や文化芸術団体等が一堂に会して、日頃の活動の成果を発表する「県民文化フェスタ」の開催を支援する。

令和6年度は南九州市及び鹿児島市で開催

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 行 事 名：①県民文化フェスタ in なんさつ 2024 ②県民文化フェスタ in かがしま 2024
 イ 開 催 日：①令和 6 年 8 月 25 日 ②令和 6 年 9 月 29 日，令和 7 年 2 月 27 日～3 月 2 日
 ウ 会 場：①marukawa ホール ②宝山ホール（舞台発表），かがしま県民交流センター（作品展示）
 エ 内 容：①演劇の披露 ②バレエや伝統芸能の披露，美術作品，伝統芸能に関する作品展示
 オ 入場者数：①687 人 ②748 人（舞台発表），700 人（作品展示）

＜3＞ 施策の実施による成果（アトカム）

「県民文化フェスタ」の開催により，県内の文化芸術団体等の活動の促進を図るとともに県民の文化芸術活動に対する関心を高めることができた。

（6）文化施設活性化事業（文化振興課） 〈一部地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

文化センター，みやまコンセル，霧島アートの森の 3 施設について，効率的で円滑な管理・運営を図るとともに，文化拠点施設としての機能活性化を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

文化センター活性化事業，みやまコンセル活性化事業，霧島アートの森活性化事業

文化センター，みやまコンセル，霧島アートの森の各施設について，指定管理者である公益財団法人鹿児島県文化振興財団において，施設・設備等の維持管理，文化事業の企画及び実施，施設の利用許可・利用料金の徴収に係る業務を行った。

〔文化センター〕

区 分	内 容	事業数	入場（参加）者数
文化芸術鑑賞事業	・ 第 45 回霧島国際音楽祭「宝山ホール祭り」 ・ 第 45 回霧島国際音楽祭キリシマ祝祭管弦楽団公演 ・ 2024 かがしま県民第九演奏会 ・ 宝山プレゼンツ 成田達輝・岡元侑也・阪田知樹トリオコンサート ・ 宝塚歌劇宙組全国ツアー公演 など	10	15,102 人
文化芸術活動支援事業	・ 第 73 回鹿児島県高等学校音楽祭 ・ 鹿児島交響楽団第 100 回定期演奏会 ・ 若葉 Festival ・ デリバリー・ミニコンサート など	16	18,368 人
文化芸術に関する情報収集・提供事業	・ 財団情報誌「憩」の作成・配布 ・ ボランティアスタッフによる広報活動 など	3	—

〔みやまコンセール〕

区 分	内 容	事業数	入場（参加）者数
文化芸術普及事業	・ 第 15 回みやまスペシャルコンサート ・ みやま音楽アカデミー みやま音楽塾修了演奏会 など	5	3,306 人
文化芸術鑑賞事業	・ 第 92 回日本音楽コンクール受賞記念演奏会 ・ みやまふれあいコンサート ・ 開館 30 周年記念ウィーン少年合唱団 など	8	3,268 人
霧島国際音楽祭運営事業 第 45 回霧島国際音楽祭東京 特別公演実施事業	・ 第 45 回霧島国際音楽祭 令和 6 年 7 月 19 日～8 月 4 日 みやまコンセールを中心に、国内外の著名な音楽家や多数の 受講生を招き演奏会と講習会を開催し、本県の音楽文化振興と 若手演奏家の育成を図った。 ・ 第 45 回霧島国際音楽祭東京特別公演 令和 6 年 8 月 6 日 第 45 回を記念して、東京のサントリーホールで「キリシマ祝 祭管弦楽団」の公演を開催	－	12,039 人
文化芸術活動支援事業	・ おとどけコンサート・さてらいとコンサート ・ みやま音楽アカデミー など	14	16,978 人

〔霧島アートの森〕

区 分	内 容	入場（参加）者数
文化芸術普及事業	・ 特別企画展 清川あさみ展 ・ 特別企画展 ヨシロットン展 ・ 霧島アートの日 11 月 3 日 など	17,587 人
文化芸術鑑賞事業	・ 野外常設展（通年） ・ 屋内コレクション展（年 4 回） ・ 園内ツアー（通年）	61,277 人

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

各施設の適切な維持管理が行われたほか、各種文化事業を通じて県内外の方々に文化芸術に触れ親しむ機会を提供することができた。

（7）文化施設整備事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

文化センター、みやまコンセール及び霧島アートの森の機能の維持・充実を図るため、施設・設備等の補修等を行う。また、霧島国際音楽祭の魅力向上と集客促進を図るため、みやまコンセールへのパイプオルガンの整備を進める。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

施設機能の維持・充実を図るため、文化センターの舞台機構設備改修等を行った。また、パイプオルガンの設置に向け、荷重分散・転倒防止のための架台・固定工事を行ったほか、海外工房での製作・仮組立て及びみやまコンセールでの組立作業を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

県民の文化芸術活動の拠点施設としての機能の維持・充実が図られた。また、パイプオルガンの組立作業や附属工事をを行い、着実に整備が進められた。

② 地域文化の継承・発展と地域づくりへの活用

(単位：千円)

予 算 科 目		予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
			国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
黎 明 館 費		78,683	4,934	13,754	59,995	75,189	4,920	13,919	56,350
内 訳	黎明館常設展示運営事業	25,911	—	165	25,746	24,423	—	99	24,324
	黎明館企画展示事業	12,758	—	1,589	11,169	12,263	—	1,820	10,443
	黎明館資料収集整備事業	2,101	—	—	2,101	1,833	—	—	1,833
	県史料編さん事業	23,501	—	12,000	11,501	22,669	—	12,000	10,669
	鶴丸城跡保全整備事業	10,729	4,934	—	5,795	10,403	4,920	—	5,483
	歴史・文化ゾーン活性化事業	3,683	—	—	3,683	3,598	—	—	3,598
計		78,683	4,934	13,754	59,995	75,189	4,920	13,919	56,350

(1) 黎明館常設展示運営事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心を深めるため、鹿児島県の過去から現在までの姿を各種資料等で紹介する常設展示室の運営や企画展示等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 常設展示室開館

年度	開館日数	観覧者数
R4	307 日	39,459 人
R5	307 日	51,042 人
R6	304 日	50,313 人

イ 企画展示開催

展 示 名	期 間	観覧者数
近世薩摩藩の財政と商人	令和6年6月11日～9月1日	8,011 人
南九州の山と生きる人々	令和6年9月10日～12月1日	8,054 人
風景へのまなざし 発見された鹿児島の名勝	令和6年12月10日～令和7年3月2日	5,590 人
新収蔵品展	令和7年3月11日～6月1日	※10,610 人

※うち令和6年度中は2,280 人

ウ 体験学習講座

1 回開催，受講者数 25 人

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(2) 黎明館企画展示事業（文化振興課（歴史・美術センター黎明館））

＜1＞ 施策の目的

黎明館の自主企画による企画特別展等を行うことにより，本県の歴史や文化遺産等に対する県民の理解と関心を深める。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 黎明館企画特別展「没後 100 年 松方正義」令和6年9月26日～11月4日，入場者数 3,476 人

イ 黎明館講演会 5 回開催，入場者数 439 人

ウ ふるさと歴史講座 1 回開催，受講者数 63 人

エ 古文書講座 8 回開催, 受講者数 37 人 (延べ 262 人)

オ 学芸講座 12 回開催, 受講者数 651 人

＜3＞ 施策の実施による成果 (アトカム)

本県の歴史や文化遺産等に対する県民等の理解と関心の深化が図られた。

(3) 黎明館資料収集整備事業 (文化振興課 (歴史・美術センター黎明館))

＜1＞ 施策の目的

本県関係の歴史資料を調査・収集の上, 整理・保存するとともに専門的・学術的な調査・研究を行う。

＜2＞ 施策の実施状況 (アトフット)

令和 6 年度収集資料 277 点

令和 6 年度末累計 182,923 点

「黎明館調査研究報告第 37 集」を刊行した。

＜3＞ 施策の実施による成果 (アトカム)

本県関係の歴史資料の収集や保存, 専門的・学術的な調査・研究が図られた。

(4) 県史料編さん事業 (文化振興課 (歴史・美術センター黎明館))

＜1＞ 施策の目的

本県の史料を編さんし, 本県歴史の学術的研究と教育・文化活動の発展に寄与する。

＜2＞ 施策の実施状況 (アトフット)

「旧記雑録拾遺神社調四」, 「市来四郎史料五」を刊行した。

＜3＞ 施策の実施による成果 (アトカム)

本県の基礎史料の整備が図られた。

(5) 鶴丸城跡保全整備事業 (文化振興課 (歴史・美術センター黎明館)) (地方創生関連事業)

＜1＞ 施策の目的

国史跡鹿児島城跡の保存や整備に関する将来的な共通の指針である「国史跡鹿児島城跡保存活用計画」を策定する。また, 計画を策定することにより, あらかじめ現状変更の行為と区域を特定し, 被災した場合でも迅速な対応を行えるようにする。

鹿児島城跡の歴史的価値や特徴などについて広く県民に周知, 情報発信することにより, 鹿児島城跡の魅力を認識し, 保存活用の意識の向上につなげる。

＜2＞ 施策の実施状況 (アトフット)

ア 専門家検討会議や担当者会議の結果を踏まえた保存活用計画の前半部分の作成, 縄張り図の作成

イ 整備基本計画の内容のための史跡の地形測量を実施 (点群データの取得)

ウ 国史跡鹿児島城跡保全整備専門家検討会議を開催 (令和 6 年 8 月 30 日, 令和 7 年 2 月 28 日)

エ 国史跡鹿児島城跡担当者会議を開催 (毎月 14 日前後)

オ 鹿児島城跡に関する価値や魅力を発信するシンポジウムを開催 (鹿児島城跡山城シンポジウム)

(ア) 開催日: 令和 6 年 9 月 7 日

(イ) 場 所: 歴史・美術センター黎明館

(ウ) 参加者: 175 人

＜3＞ 施策の実施による成果 (アトカム)

保存活用計画の策定に必要な縄張り図作成, 関係機関との協議を行い, 計画の刊行に資することができた。また, 保存活用計画策定後に予定されている整備基本計画の策定に必要な地形測量を行うことができた。

鹿児島城跡の保存活用に対する県民の意識の向上が図られた。

(6) 歴史・文化ゾーン活性化事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

歴史・文化ゾーンや城山を含む一帯が、県民をはじめ国内外の人が集う歴史・文化芸術や観光の拠点となるよう同エリアの高付加価値化やさらなる充実に向け、意見交換会やイベントを実施する。

〈2〉 施策の実施状況(アウトプット)

ア 歴史・文化ゾーン活性化に係る意見交換会を開催（令和6年8月8日）

イ 歴史・文化ゾーン回遊性向上イベント「鹿児島城跡 中秋の宴」を開催

（ア）開催日：令和6年10月6日

（イ）場 所：歴史・美術センター黎明館

（ウ）参加者：103人

〈3〉 施策の実施による成果(アウトカム)

令和5年度に作成した意見交換会の中間とりまとめに基づき、対応可能なものから関係各所が対応した。また、鹿児島市関係課との意見交換会を実施し、検討状況及び対応状況をとりまとめた。

イベントを通して歴史・文化ゾーンの魅力発信及び交流人口の拡大が図られた。

③ 文化芸術に係る人材の育成

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	6,676	—	—	6,676	6,021	—	—	6,021
内 訳 文化行政推進体制整備事業	6,676	—	—	6,676	6,021	—	—	6,021
計	6,676	—	—	6,676	6,021	—	—	6,021

(1) 文化行政推進体制整備事業（文化振興課）

＜1＞ 施策の目的

芸術文化奨励賞授与や文化芸術振興審議会の開催，文化振興推進員の設置等により本県文化の振興を図る。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 芸術文化奨励賞

- ・授 賞 式：令和6年11月19日
- ・受 賞 者：個人の部 音楽部門 松本 圭使氏
団体の部 演劇部門 劇団えらぶ百物語

イ 文化芸術振興審議会

令和6年8月29日に開催予定だったが，台風接近により中止した。（資料送付による意見照会を行った。）

ウ 文化振興推進員

- ・設置人数：1人
- ・業務内容：県民文化フェスタ等における関係団体との調整等
- ・任 期：令和6年4月1日～令和7年3月31日

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

芸術文化奨励賞授与や文化振興推進員の設置を通じて，本県文化行政の推進を図ることができた。

④ 文化芸術を通じた国内外との交流促進と情報発信

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
文 化 推 進 費	2,182	—	—	2,182	1,655	—	—	1,655
内 訳 業	2,182	—	—	2,182	1,655	—	—	1,655
文 化 施 設 費	39,349	—	33,000	6,349	39,349	—	33,000	6,349
内 訳 業	39,349	—	33,000	6,349	39,349	—	33,000	6,349
文化施設活性化事業 (霧島国際音楽祭運営 事業)(一部再掲)								
計	41,531	—	33,000	8,531	41,004	—	33,000	8,004

(1) 文化芸術交流促進事業（文化振興課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

海外の文化芸術団体等の文化交流の促進を図り、国際性豊かな感性をそなえた県民の育成や特色ある郷土文化の発展に資することを目的として、香港、シンガポール、全北特別自治道（韓国）との交流会議における合意事項に基づき、文化芸術団体を隔年おきに相互に派遣（受入）する。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 香港との文化芸術交流

(ア) 受入団体「トロヴェシヨナルバンド (TroVessional Band)」計4人

(イ) 日程 令和6年10月18日～21日

(ウ) かごしまアジア青少年芸術祭への出演（令和6年10月19日）

(エ) 山形屋イベント広場での公演、鹿児島大学学生との交流（令和6年10月20日）

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

国内外の文化芸術団体や県内大学生との交流等を実施することで相互の文化芸術への取組の理解につなげることができた。

(2) 文化施設活性化事業（霧島国際音楽祭運営事業）（文化振興課）〈地方創生関連事業〉（一部再掲）

4 (2) ①(6)において前述

(3) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興

① スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	22,922	—	—	22,922	22,197	—	1,858	20,339
内 訳								
かごしまスポーツチ ーム支援事業	15,000	—	—	15,000	15,000	—	—	15,000
スポーツかごしま活 性化事業	7,922	—	—	7,922	7,197	—	1,858	5,339
計	22,922	—	—	22,922	22,197	—	1,858	20,339

(1) かごしまスポーツチーム支援事業（スポーツ振興課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

スポーツを核とした交流人口の拡大や地域活性化などにより、元気で活力ある地域づくりを推進するため、県内に本拠地を置くプロスポーツチーム等を支援する。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 法人格を有し収支決算の公表がなされ、かつ県内市町村が財政支援を行っている以下のチームに対し広告料を支出

- ・鹿児島ユナイテッド F C
- ・鹿児島レブナイズ
- ・フラーゴラッド鹿児島
- ・シエルブルー鹿屋
- ・MORI ALL WAVE KANOYA

イ その他側面的な支援

- ・ふぁんねっとやメールや公式Instagram等を活用したホーム戦日程等の広報
- ・県庁舎等でのチラシの配布、ポスターの掲示
- ・県政広報番組を活用したチームの P R

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

有料観戦興行を行うチームの観客数の増加

- ・鹿児島ユナイテッド F C : 2024 シーズン 125,324 人（前年比 13,140 人増、11.7%増）
- ・鹿児島レブナイズ : 2024-2025 シーズン 77,496 人（前年比 13,681 人増、21.4%増）
- ・フラーゴラッド鹿児島 : 2024-2025 シーズン 11,589 人（前年比 6,198 人増、114.9%増）

※シエルブルー鹿屋、MORI ALL WAVE KANOYA は観戦無料

(2) スポーツかごしま活性化事業（スポーツ振興課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

かごしまのスポーツ資源などを活用して、スポーツに親しむ機会を創出し、スポーツを通じた交流人口の拡大や地域活性化を図る。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア スポーツイベント等を開催する団体に対する助成

地域資源との相乗効果による持続可能な交流人口の拡大に資する継続的なスポーツイベント等の開催に要する経費の一部を助成（6 団体）

イ スポーツかごしま活性化連絡会の運営

県内に本拠地を置くプロスポーツチーム等の連携による認知度向上の取組を推進。

（連絡会の開催：1 回、連携 P R 活動の実施：4 回）

ウ かごしまスポーツ応援団体の認定

スポーツ振興の取組を積極的に応援する県内の企業等を「かごしまスポーツ応援団体」として、令和4年度から30団体を認定し、本県スポーツを支える重要な資源として、その取組等を県民に周知することにより企業等がスポーツを応援する機運を醸成し、本県のスポーツ振興を図った。

エ 薩摩おいどんリーグ2025における本県PRの実施

カテゴリーの枠を超えた大規模な野球の交流戦である「薩摩おいどんリーグ」において、配信映像や大会HP、球場横断幕における広告の掲出や来場者に対する観光等PRを行い、本県のPRを実施した。

※薩摩おいどんリーグ2025

日程：令和7年2月22日～3月9日 16日間

開催市：鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、薩摩川内市、始良市

会場数：10会場

＜3＞施策の実施による成果(アウトカム)

県内で新たなスポーツイベント等の開催が促進されたほか、かごしまスポーツ応援団体の認定や薩摩おいどんリーグ2025の開催により、スポーツを核とした交流人口の拡大や地域活性化が図られた。

ア 開催助成を行ったスポーツイベント等

参加者数：5,429人

来場者数：16,684人

イ 薩摩おいどんリーグ2025

参加者数：約2,600人

来場者数：約24,000人

② 良質なスポーツ環境の提供

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
企 画 総 務 費	22,969	—	—	22,969	22,183	—	—	22,183
内 訳 スポーツ・コンベンションセンター整備事業	22,969	—	—	22,969	22,183	—	—	22,183
計	22,969	—	—	22,969	22,183	—	—	22,183

(1) スポーツ・コンベンションセンター整備事業（スポーツ・コンベンションセンター整備課）

〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

スポーツ・コンベンションセンターの整備・運営に係る P F I 事業の実施に向けた取組を行う。

＜2＞ 施策の実施状況(アウプット)

スポーツ・コンベンションセンターの整備運営に係る P F I 事業の実施に向け、専門のコンサルタントから、入札説明書等に関する事業者からの質問・意見等の整理や、回答案の作成支援を受けた。

また、事業の趣旨に対する入札参加者の理解を深め、県の意図と入札参加者の提案内容との間に齟齬が生じないようにすることを目的として、競争的対話(意見交換)を実施した際、対話に必要な助言を得たほか、対話に係る資料や記録の作成等の支援を受けた。

入札不調後は、入札書の提出に至らなかった理由等についての事業者からのヒアリングを実施した際、ヒアリングに必要な助言を得たほか、ヒアリングに係る資料や記録の作成等の支援を受けた。また、その後の整備運営手法や事業費の再検討においても、助言等の支援を受けた。

なお、当初は、P F I 手法、建築、都市計画、経営など各分野の専門家で構成する「県スポーツ・コンベンションセンター整備運営事業者選定委員会」を2回開催し、事業者からの提案内容の審査を行う予定としていたが、入札不調及び整備運営手法の変更により、開催を見送った。

ア 入札公告

一般競争入札の公告を行うとともに、入札説明書や落札者決定基準等の入札関係資料を県ホームページで公表

- ・ 期 日：令和6年4月5日

イ 入札説明書等に関する説明会

- ・ 期 日：令和6年4月17日
- ・ 場 所：県庁2階講堂
- ・ 内 容：入札説明書及び落札者決定基準等の説明
- ・ 参加者数：35社59名（うち県内企業17社27名）

ウ 競争的対話(意見交換)の実施

事業の趣旨に対する入札参加者の理解を深め、県の意図と入札参加者の提案内容との間に齟齬が生じないようにすることを目的として、入札参加者との競争的対話(意見交換)を実施し、その内容を県ホームページで公表

- ・ 期 日：令和6年6月13日
- ・ 内 容：入札参加者から希望があった議題等について意見交換を実施
- ・ 内容公表日：令和6年7月8日

エ 事業者等ヒアリング

9月27日に入札が不調となったことを受け、10月28日と30日に、入札参加表明を行っていた2グループ及び令和6年1月の意見交換会に参加した1グループの計3グループを対象に、入札書の提出に至らなかった理由等についてヒアリングを実施。その後も引き続き、詳細な内容についてヒアリングを実施。

オ スポーツ・コンベンションセンターの検討結果に係る説明会

- ・ 期 日：令和 7 年 2 月 14 日
- ・ 場 所：全員協議会室
- ・ 内 容：入札不調後の検討結果及びそれを踏まえた県の考え

カ 3 月県議会における説明

代表質問，一般質問，文教観光委員会を通じて，スポーツ・コンベンションセンターを整備する意義や県財政への影響等について説明

＜3＞施策の実施による成果（アトカム）

令和 7 年 2 月に，県議会の説明会において「入札不調後の検討結果及びそれを踏まえた県の考え」を説明した。また，3 月には県議会に対し，「スポーツ・コンベンションセンターを整備する意義」や「県財政への影響」などの県の考え方の説明を行った。

その結果，整備運営手法の従来型手法への見直しについて，県議会の理解をいただけた。

11 観光の「稼ぐ力」の向上

(1) 国内外における戦略的なPRの展開

① 多彩な魅力を活用したPRの展開

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
中 小 企 業 振 興 費	1,493	—	—	1,493	1,190	—	—	1,190
内 薩長土肥連携事業	1,493	—	—	1,493	1,190	—	—	1,190
計	1,493	—	—	1,493	1,190	—	—	1,190

(1) 薩長土肥連携事業（文化振興課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

明治維新 150 周年を記念して、平成 30 年度に鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県の 4 県が締結した「薩長土肥同盟」に基づき、4 県が連携して青少年の交流事業を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

薩長土肥連携青少年交流事業

- ・実施日：令和 6 年 11 月 2 日～ 4 日
- ・場 所：毛利博物館、松陰神社 等
- ・参加者：鹿児島県、山口県、高知県、佐賀県の高校生 39 人

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

青少年の交流事業を通して、参加した高校生が各県の歴史について理解を深めるとともに相互の交流を図ることができた。

② Web等を活用したプロモーションの展開

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	29,704	9,100	—	20,604	27,575	9,053	—	18,522
内 訳 かごしまイメージア ップ事業	29,704	9,100	—	20,604	27,575	9,053	—	18,522
計	29,704	9,100	—	20,604	27,575	9,053	—	18,522

(1) かごしまイメージアップ事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県の多彩な魅力の発信によるイメージアップや認知度向上を図るため、キャッチコピー「南の宝箱 鹿児島」やPR動画を活用したプロモーションを実施する。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 県民等からの動画募集キャンペーンの実施

県民等からあなたの「南の宝箱 鹿児島」と称して、鹿児島の魅力を発信する「15秒短編PR動画」の募集を行うキャンペーンを実施した。

(ア) 募集期間：令和6年11月25日～令和7年2月15日

(イ) 募集媒体：X（旧Twitter）

(ウ) 応募件数：202件

イ インターネットを活用した情報発信

旅行予約サイトを活用した観光情報の発信や、アで募集した15秒のPR動画を活用してインターネット（Web、SNS）広告及びPR動画の配信を行った。

(ア) 旅行予約サイトを活用した誘客促進キャンペーン

・実施期間：令和7年1月15日～2月28日

・実施内容：旅行予約サイト(じゃらんnet)上に特設サイトを公開し、関東・関西エリアを対象に鹿児島県の宿泊施設で利用できるクーポンを発行した。また、SNS(Instagram, Facebook, YouTube等)を活用した情報発信及びアンケート調査等を行った。

・クーポン発行実績：468枚(2,485千円分)

・アンケート回答数：113名

(イ) SNS等のデジタル媒体を活用し、県PR動画を広告として配信することで、県観光サイト「かごしまの旅」への誘導及び効果検証を実施した。

・広告配信期間：令和7年1月15日～3月16日

・ターゲット：関東・関西圏在住の50代以上、旅行に関心のある層

・配信媒体：Instagram, LINE, YouTube

・配信本数：14本(奄美大島の自然、指宿の観光地、名山堀の路地裏、アで募集した動画等)

・完全視聴回数：1,775,454回

・クリック回数：33,031回

ウ イベント等を活用したPR

(ア) 二次元コードを活用したポスター及び関連する観光サイトページを作成した。

(イ) ロゴマーク「南の宝箱 鹿児島」を活用したPR資材(ビニール袋、ウェットティッシュ、テーブルクロス等)を作成した。

(ウ) 鹿児島中央駅地下通路において、「南の宝箱 鹿児島」のポスター画像を使用した電照コルトンを制作・掲出した。

エ 海外向けPR

海外の方が興味を示す、鹿児島県民の個人ストーリーを通じた本県の多彩な魅力を英語で紹介する動画を作成し、YouTubeを活用して本県の多彩な魅力を国内外へ広く発信した。

- ・アカウント名：People of Kagoshima
- ・発信媒体：YouTube
- ・開始時期：令和3年8月
- ・投稿頻度：5回／年
- ・登録者数：6,270人（令和7年3月時点）
- ・再生回数：100,116回（令和6年4月～令和7年3月）

オ 職員向け研修の実施

PR業務やSNS運営等に携わっている職員を対象に、「観光DXが創る鹿児島の未来」をテーマとして、効果的なPR手法等の習得を目的とした研修を実施した。

- ・日程：令和6年5月7日
- ・会場：庁内会議室
- ・講師：鹿児島県DX推進アドバイザー 陣内 裕樹 氏
- ・参加者：8人

カ SNSによる情報発信

InstagramやFacebookにおいて、風景や観光地などの鹿児島の多彩な魅力の情報発信を行った。

発信媒体	フォロワー数（年度末時点）			R6	投稿	開始
	R4	R5	R6	投稿数	頻度	時期
Instagram（アカウント名：南の宝箱 鹿児島）	17,932人	19,299人	21,757人	156回	週3回程度	H30.10
Facebook（アカウント名：PR観光課）	4,014人	4,225人	4,284人	186回	週3回程度	H28.6

<3> 施策実施による成果(アウカム)

PR動画等を活用したプロモーションの実施やSNSを活用した積極的な情報発信を行ったことにより、本県の多彩な魅力を国内外に広く発信することができ、更なるイメージアップや認知度向上につながった。

（２）魅力ある癒やしの観光地の形成

① 地域の観光資源の活用及び創出等

（単位：千円）

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	1,846	—	—	1,846	1,721	—	—	1,721
内 企画開発管理費（観光 基本方針策定事業）	1,846	—	—	1,846	1,721	—	—	1,721
計	1,846	—	—	1,846	1,721	—	—	1,721

（１）企画開発管理費（観光基本方針策定事業）（PR観光課）

＜１＞ 施策の目的

観光立県の実現に関する主要な施策を総合的かつ計画的に推進するため、観光立県かごしま県民条例に基づく、「鹿児島県観光振興基本方針」を策定する。

＜２＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光立県推進会議の開催

条例に基づく鹿児島県観光立県推進会議を開催し、意見聴取を実施した。

＜開催状況＞

	実 施 日	議 題 等
第１回	令和６年９月２日	- 本県の観光動向について - 観光立県かごしま県民条例に基づく第４期「基本方針」について
第２回	令和７年１月２０日	- 観光立県かごしま県民条例に基づく基本方針として「鹿児島県観光振興基本方針」（案）（諮問）について - 諮問に対する答申について

イ パブリック・コメント

次期観光振興基本方針（骨子案）について、パブリック・コメントを実施した。

対象	次期鹿児島県観光振興基本方針骨子案
期間	令和６年１０月１０日～１１月１１日
結果	意見数：２４件（５人）

＜３＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

観光立県推進会議からの答申、議会での議決を経て、令和７年度から令和１１年度を推進期間とする「鹿児島県観光振興基本方針」を令和７年３月に策定した。

② 観光関係施設等の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	1,654,202	124,637	1,381,921	147,644	1,031,583	122,477	844,914	64,192
内 訳								
魅力ある観光地づくり事業	1,401,454	—	1,266,454	135,000	783,252	—	731,447	51,805
奄美パーク改修等事業	249,275	124,637	115,467	9,171	244,957	122,477	113,467	9,013
住吉町15番街区利活用事業	3,473	—	—	3,473	3,374	—	—	3,374
計	1,654,202	124,637	1,381,921	147,644	1,031,583	122,477	844,914	64,192

魅力ある観光地づくり事業 翌年度への繰越額 617,215 千円

(1) 魅力ある観光地づくり事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県を訪れる観光客の満足度と回遊性を高めるため、市町村や民間と連携しながら、県内各地の魅力的な観光資源を活かした観光地づくりを推進する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア にぎわい回廊整備

地域の自然・歴史・文化等の魅力的な観光資源を活かしたにぎわいや憩いの空間の創出・沿道修景等の整備を行った。

(にぎわい回廊整備状況)

地 域 名	整 備 箇 所
南 薩	池田湖周辺景観整備（指宿市）
	薩南海岸トリップライン整備（南九州市・枕崎市）
北 薩	出水戦跡巡り周辺整備（出水市）
	薩摩川内市東部観光拠点整備（薩摩川内市）
始良・伊佐	肥薩線沿線周遊観光ルート整備（霧島市）
	重富まち歩き拠点整備（始良市）
	曾木の滝周遊景観整備（伊佐市）
	八幡大地獄散策路整備（湧水町）
大 隅	大隅歴史散策拠点整備（肝付町、東串良町）
熊 毛	種子島北部観光拠点整備（西之表市）
大 島	大和村観光拠点整備（大和村）
	奄美トレイル観光環境整備（喜界町、宇検村、伊仙町）
	ゼロカーボンアイランド観光拠点整備（和泊町、知名町）

イ 観光案内標識（サイン）整備

全ての観光客がストレス無く快適に観光を満喫できるよう、多言語表記の観光案内標識等の整備を行った。

(案内標識設置状況)

(単位：基)

種 別	～R3	R4	R5	R6	計
観光案内板	33	—	—	—	33
観光案内標識 (かごしまロマン街道)	1,029	4	5	5	1,043
計	1,062	4	5	5	1,076

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

ア にぎわい回廊整備

県内各地において、広域観光ルートの拠点となる「魅力ある癒やしの観光地」の形成が図られ、本県を訪れる観光客の満足度と回遊性が高まった。

イ 観光案内標識（サイン）整備

多言語表記の観光案内標識等の整備、充実により、観光客の県内観光地への適確な誘導・案内が図られた。

(2) 奄美パーク改修等事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

奄美の世界自然遺産登録を踏まえ、施設の長寿命化を図るとともに、世界遺産の情報発信拠点としてふさわしい施設となるよう改修を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

施設機能の維持・充実を図るため、奄美の郷の空調設備改修及び多目的広場の高倉改修を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

奄美群島の自然や生活文化を学ぶ場として、より一層の受入体制の強化及び機能充実が図られた。

(3) 住吉町 15 番街区利活用事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

鹿児島港本港区エリアコンセプトプランにおいて、住吉町 15 番街区エリアの利活用方針として示されている「コンベンション機能等を核とした交流・観光拠点エリア」の形成を図るため、民間事業者による利活用について公募を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

住吉町 15 番街区について、MICE・バンケット・ホテル等に利活用するための事業者の公募に向けて、住吉町 15 番街区利活用事業提案評価委員会を設置・運営し、公募要領の策定等を行った。

ア 住吉町 15 番街区利活用事業提案評価委員会の開催

第 1 回 令和 7 年 1 月 9 日 公募要領（案）の構成・内容、提案内容の評価・選定方法などの協議等

第 2 回 令和 7 年 2 月 4 日 公募要領（案）の構成・内容、提案内容の評価・選定方法などの協議等

イ 公募要領の公表

令和 7 年 3 月 28 日 公募要領の公表

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

令和 7 年 3 月 28 日に、公募要領を公表し、事業者公募を開始した。

(3) 戦略的な誘客の展開

① 観光客の来訪の促進等

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	その他の 特定財源	一 般 財 源
企 画 総 務 費	11,986	—	—	11,986	11,395	—	—	11,395
内「明治日本の産業革命遺産」等次世代への 継承推進事業	11,986	—	—	11,986	11,395	—	—	11,395
観 光 費	203,809	26,035	2,266	175,508	197,397	25,440	2,521	169,436
内 観光かごしま大キャ ンペーン推進事業	80,000	—	2,266	77,734	80,000	—	2,521	77,479
内 フィルムコミッショ ン活動支援事業	8,739	—	—	8,739	8,739	—	—	8,739
内 修学旅行等対策事業	1,200	—	—	1,200	1,200	—	—	1,200
内 かごしま「推し旅」誘 客促進事業	16,205	7,842	—	8,363	16,197	7,842	—	8,355
内 鹿児島・佐賀相互誘客 事業	9,000	—	—	9,000	6,145	—	—	6,145
内 南九州観光振興事業	2,000	—	—	2,000	2,000	—	—	2,000
内 「稼げる」観光地域づ くり推進事業	29,049	18,193	—	10,856	26,471	17,598	—	8,873
内 サイクルツーリズム 推進事業	14,327	—	—	14,327	13,409	—	—	13,409
内 磯新駅設置支援事業	43,289	—	—	43,289	43,236	—	—	43,236
計	215,795	26,035	2,266	187,494	208,792	25,440	2,521	180,831

【参考】①目標値

区 分		基準年 (H30 年)	目 標 (R6 年)	現 状 (R6 年)
(1) 宿泊者数を増やす ^(注1)				
①	延べ宿泊者数	約 8,864 千人泊	9,900 千人泊	8,379 千人泊
②	①のうち、 外国人延べ宿泊者数	約 831 千人泊	1,500 千人泊	620 千人泊
(2) 観光客の満足度を高め、リピーターを増やす				
		(H30 年度)	(R6 年度)	(R6 年度)
	観光客の満足度	約 76%	100%	約 93%

②本県観光客の推移

(単位：人泊)

	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
延べ宿泊者数	5,126,520	4,925,760	6,089,460	8,152,790	8,378,560

※出典：観光庁「宿泊旅行統計」

※対象施設：全てのホテル・旅館・簡易宿泊所

(注1)観光庁「宿泊旅行統計調査」の延べ宿泊者数(暦年)の集計結果を目標の指標として設定

(1) 「明治日本の産業革命遺産」等次世代への継承推進事業(文化振興課 世界文化遺産室) (地方創生関連事業)

＜1＞ 施策の目的

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の管理保全や、次世代への継承に向けた普及啓発、世界遺産としての価値の理解増進・情報発信に取り組む。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 県の取組

(ア) 管理保全

a 世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」シンポジウムの開催

日程：令和6年11月9日

場所：鹿児島県青少年会館 大ホール

b 構成資産の管理保全に係る各種会議（保全委員会、集成館地区管理保全協議会等）への参加

(イ) 普及啓発

「明治日本の産業革命遺産」及び県内の構成資産について、世界文化遺産としての価値について理解を深めてもらい、次世代へ継承していくという県民意識の醸成を図るため、県内全域を対象とした普及啓発に取り組んだ。

a 教育連携

(a) 副読本「かごしまタイムトラベル」の改訂増刷・配布

増刷部数	配布先	活用等	規格等
12,500部	県内の小学5年生、 市町村教育委員会	・学校現場での活用 ・教職員研修での活用	A4・24頁

b 県内波及への取組等

事業名	事業内容	場所等	参加者
かごしま産業遺産の道事業	集成館事業に関連する県内の産業遺産を紹介する「かごしま産業遺産の道」ホームページの県観光サイトにおける運用	鹿児島県観光サイト 「かごしまの旅」に公開	—
近代化産業遺産普及・啓発事業	1 児童向けの出前講座 (1) 日 程 令和6年10月23日、11月25日 (2) 内 容 「かごしまタイムトラベル」等を活用した「明治日本の産業革命遺産」の概要説明	垂水市立松ヶ崎小学校 南大隅町立佐多小学校	8人 8人
	2 一般県民向けの講演会・まち歩き (1) 講演会 ① 日 程 令和6年12月15日 ② 内 容 世界中の産業遺産をめぐっている市原先生にきくズバリ！集成館事業の魅力とは	桜島フェリーターミナル・イベントスペース	41人
	(2) まち歩き ① 日 程 令和7年1月13日 ② 内 容 薩摩の製鉄技術を訪ねる	姶良市加治木町内（森山家住宅ほか）	29人

(ウ) 理解増進・情報発信

「明治日本の産業革命遺産」の県内の構成資産について、県内外での認知度向上及び理解増進を図った。

a 観光素材相談会（東京、大阪）及び教育旅行説明会（東京）への参加

b 県内構成資産プロモーションの実施（特集ページ「かごしまの『明治日本の産業革命遺産』にふれる旅」の作成）

公 開 日：令和7年1月20日

公 開 場 所：県観光サイト「かごしまの旅」特集ページ内

公 開 内 容：県内構成資産の魅力、本遺産に関するトピックス、県内構成資産と楽しみたい鹿児島の〇〇、県内構成資産と鹿児島のホットスポットを巡る旅

そ の 他：閲覧を促すため、公開日から約2か月間、Web広告を実施

c 県内構成資産紹介パンフレットの増刷

名称	作成部数	規格等
明治日本の産業革命遺産「産業国家」日本の原点 鹿児島	7,000 部	A 4・16 頁

d 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」認定・登録

育成研修名：鹿児島大学大学院「総合講義（鹿児島県における世界文化遺産）」

研修実施日：令和 7 年 1 月 25 日，26 日，2 月 1 日

研修修了者：28 人

認定・登録者：43 人（累計，令和 7 年 3 月 31 日現在）

e 「鹿児島県世界文化遺産地域通訳案内士」フォローアップ研修の実施

研修実施日：令和 7 年 2 月 8 日，22 日，3 月 1 日

研修内容：ガイド案内の基本事項に係る座学，関吉の疎水溝・旧集成館反射炉跡等でのガイド実習

参加者：当該案内士など 15 人

イ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会の取組

(ア) 世界遺産委員会決議への対応

令和 5 年 9 月に開催された第 45 回世界遺産委員会において，令和 4 年 11 月 30 日に提出した保全状況報告書が審議され，世界遺産センター及び諮問機関によるレビューのために，最新の情報を提出することが国に要請された。これを受け，国は，令和 6 年 11 月 29 日付けでインタープリテーション及び対話に関する報告書をユネスコへ提出した。

(イ) インタープリテーション（理解増進・情報発信）の推進

項目	取組内容
8 県 11 市 23 資産の理解増進及び情報発信	① 構成資産を舞台としたミステリー小説の制作・公開（令和 6 年度は鹿児島県を含む構成資産を舞台とする 5 作品），ミステリー文庫制作 ② PR 動画等の制作・公開，登録 10 周年特設 Web サイトの開設・運用，登録 10 周年記念ポスターの制作 ③ 写真等パネルの制作 ④ ノベルティの制作 ⑤ ホームページ更新 など

(ウ) 人材育成

項目	取組内容
ガイドの人材育成	① ガイド研修会の開催 日 程：令和 6 年 10 月 24，25 日 場 所：伊豆の国市 対象者：各構成資産地域のガイド，自治体職員等 82 人 内 容：地域のガイド活動事例など
自治体職員の人材育成	② 管理保全研修会の開催 日 程：a 令和 6 年 5 月 16 日（現地（長崎）とオンライン併用） b 令和 7 年 2 月 6 日（オンライン） 対象者：自治体職員（a 41 人，b 36 人） 内 容：管理保全の概要，世界遺産における災害対策や災害復旧の捉え方についてなど

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

小学生向け副読本や県内構成資産プロモーションの実施により，本遺産を次の世代に引き継ぐという県民意識の醸成が図られた。

また、世界遺産委員会決議への対応や人材育成の取組などにより構成資産の管理保全を図るとともに、ミステリー小説やPR動画の制作、Webサイトの開設・運用などにより本遺産に対する理解増進等が図られた。

(2) 観光かごしま大キャンペーン推進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県を訪れる観光客の一層の増加を図るため、メディア、キャリア、エージェント等を活用した効果的な誘客キャンペーン等を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

官民一体となり、観光関連産業の「稼ぐ力」の向上を図るため、近年の旅行ニーズの多様化に対応した観光コンテンツの充実や情報発信のほか、交通キャリアタイアップ等による誘客キャンペーンに取り組む、観光かごしま大キャンペーン推進協議会へ負担金の拠出を行った。

【一般事業】

ア 「南の宝箱 鹿児島」の効果的な情報発信の展開

(7) 鹿児島の「宝」プロモーション事業【旅マエの取組】

a メディア等広告媒体を活用した効果的な情報発信

(a) 鹿児島の「宝」を活用した旅行喚起キャンペーン事業の実施

鹿児島県が有する観光資源を活用し、本県への観光を促すための効果的なオンラインプロモーション等の実施及び本県の体験商品予約販売サイト「VISIT 鹿児島県」を活用した着地後の体験の旅の促進を図った。

①特設サイト「KAGOSHIMA TRIPー好きに会おう旅、鹿児島」開設及びWEB 広告での発信

特設サイトビュー数 140 万回

②体験メニュー＋交通宿泊セットプラン商品の造成及び販売促進強化：実績 114 人

③「VISIT 鹿児島県」及び専用旅行商品での割引キャンペーン

令和6年10月11日～11月23日 30%OFF キャンペーン：実績 29 人

令和7年1月10日～2月11日 50%OFF キャンペーン：実績 235 人

(b) オンラインメディア「Premium Japan」掲載

掲載日：令和7年3月31日

(c) 博多駅サイネージ広告

期 間：令和7年2月17日～2月23日

(d) 雑誌社等取材助成

実 績：4 件

b 観光展出展事業

(a) ツーリズムEXPOジャパン 2024 出展

世界最大級の総合観光イベントに出展し、鹿児島県の魅力を発信した。

場 所：東京ビッグサイト 来場者数：182,934 人

(b) その他観光展への出展

実 績：4 件

c 体験商品予約販売サイト「VISIT 鹿児島県」の運用及び利用促進

新規掲載商品：20 商品

(i) ニーズに対応した観光情報発信事業【旅ナカの取組】

a 県公式観光サイトを活用した情報発信

- ・グーグル・アナリティクスを活用したユーザー属性や流入経路、人気コンテンツなどのデータ分析による効果的な記事作成
- ・イベント情報、新規情報等の掲載
- ・新規特集ページ6本（「ファミリーにおすすめのスポット27選」「昭和レトロな町並み「名山堀」」等）、新規観光スポット7件（「イソヒヨココーヒー」「奄美温泉 大和 ハナハナビーチリゾート」等）の掲載

b 観光 DX の推進

閑散期における鹿児島への誘客促進を図るため、県産食材や地元グルメを活用し、県内広域での周遊を促進するデジタルスタンプラリーを実施

期 間：令和 7 年 2 月 7 日～3 月 17 日

実施店舗：県内飲食店等 215 店舗

参加者数：3,331 名

c 観光パンフレットを活用した情報発信

(a) 拠点発周遊観光マップ「かごしマップ」増刷・改訂 3 種、各 10,000 部

(b) 「つなぐ、つむぐ旅 鹿児島」増刷・改訂 10,000 部

(c) 「しま旅」増刷・改訂 10,000 部

(ウ) 地域の特性と魅力を活かした連携事業【素材の磨き上げ】

a 広域観光促進のための連携事業

県内観光協会等との情報交換の実施

b 持続可能な観光への取組支援事業

(a) 霧島ジオパーク推進連絡協議会観光専門部会への参加

(b) 鹿児島市グリーン・ツーリズム推進協議会への参加

(c) 霧島錦江湾国立公園のストーリーの活用における意見交換会（環境省九州地方環境事務所がストーリーブックを作成するにあたって実施したワーキンググループ）への参加

(d) 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産地域連絡会議への参加

イ 効果的な誘客促進への取組

(ア) 旅行エージェント・キャリア等と連携した誘客促進

a 旅行商品造成支援事業の実施

(a) 離島募集型企画旅行商品造成支援事業

県内の離島 2 島以上宿泊する旅行商品を造成した旅行会社に対し支援する事業

助 成 額：離島 1 人泊につき 1,000 円（1 旅行商品の上限 30 万円など上限設定あり）

助成条件：鹿児島県内の離島 2 島以上の周遊かつ、離島に 2 泊以上するもの

県内離島の宿泊施設に 50 人泊以上の宿泊を伴う旅行商品

申 請 数：6 件

助成実績：0 件（助成条件である 50 人泊以上に満たなかったため）

(b) 受注型企画旅行等団体旅行誘致支援事業（貸切バス）

県内のホテル、旅館等に 1 泊以上の宿泊を伴う受注型企画旅行及び手配旅行に対し貸切バスの経費の助成を実施した。

助 成 額：1 台 4 万円（2 台目以降 5 万円、上限 19 万円（4 台））

桜島加算 5 千円／台、有料観光施設加算 5 千円／行程、ゴルフ加算 1 千円／人

対 象 期 間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 2 月 28 日（除外：4 月 27 日～5 月 6 日）

実 績：56 件 63 台

b 旅行エージェント・キャリアと連携したキャンペーンの実施

旅行会社や交通事業者と連携して、本県への誘客プロモーションやキャンペーンを実施した。

(a) 旅行会社タイアップ事業（3 社）

(b) キャリアタイアップ事業（5 社）

(イ) 観光関係団体等と連携した誘客促進

県外事務所や、教育旅行受入対策協議会等の各種観光関係団体と連携し、首都圏等において新たな観光素材やタイムリーな情報の提供などを行った。

【重点戦略事業】

ア 交通キャリアと連携した誘客キャンペーン

(7) A N A と連携した誘客キャンペーン

鹿児島県の「宝物」の魅力を発信し、旅行意欲を喚起するキャンペーン等を展開することにより、本県への誘客促進を図った。

期間：令和6年11月～令和7年3月

実施内容

- a A N A キャンペーン特別サイト開設
実績：P V 数 60,944 回，U U 数 47,543 人
- b A N A 自社媒体等を活用したプロモーション（動画作成等含む）
- c A N A Pocket チャレンジキャンペーン
実績：エントリー数 52,399 人，達成者数 2,331 人
- d A N A LIVE SHOPPING
実績：P V 数 12,319 回
- e 搭乗促進キャンペーン・プロモーション
実績：申込者数 15,718 件
- f KITTE 大阪・かごしま屋でのプロモーション
実績：アンケート回答数 506 件

(イ) J R 西日本と連携したキャンペーン

期間：令和6年10月～令和7年3月

実施内容

- a 個人型旅行
 - (a) 関西から新幹線を用いた本県への旅行商品造成のため、着地型商品の割引キャンペーンを実施
実績：送客人数 409 人
 - (b) J R 西日本直販の旅行商品を特別価格にて販売
実績：送客人泊数 12,045 人
- b 団体型旅行
旅行会社に対する本県への送客数に応じた旅行商品造成費用の支援
実績：送客人泊数 1,814 人

イ 誘客促進活動

(7) 九州観光機構と連携した誘客促進活動

- a 観光素材集の作成
- b 観光素材相談会の実施（相談件数：88 件）

(イ) 県内外イベントにおける P R 活動

本県への誘客が期待できるイベント等へ出展し、観光情報の発信を行った。

イベント	期間	場所
霧島国際音楽祭 東京特別公演	令和6年8月6日	サントリーホール
ツーリズム E X P O ジャパン	令和6年9月26日～29日	東京ビッグサイト
関西かごしまファンデー	令和6年9月29日	神戸国際展示場1・2号館
F D A 鹿児島空港乗り継ぎ キャンペーン P R イベント	令和6年10月12日～13日	新静岡セノバ1階 けやき通りロイイベントスペース
大関ヶ原祭 2024	令和6年10月19日～20日	岐阜関ヶ原古戦場記念館北駐車場
かごしまのタベ	令和7年1月30日	セルリアンタワー東急ホテル

(ウ) 県外事務所のネットワークを活用した情報発信

県東京事務所・大阪事務所・福岡事務所において、観光物産展での観光 P R や、地元メディアによる P R など、現地ならではのネットワークを活用した情報発信を実施した。

(エ) その他の誘客促進活動等

NEXCO 西日本「ぎゅぎゅっと九州まんきつドライブパス 2024」への特典提供

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

令和 6 年年間値（R6.1 月～R6.12 月 観光庁「宿泊旅行統計調査」※確定値）

延べ宿泊者数（人泊）

区分	人泊	対前年比
鹿児島県	8,378,560	102.8%
うち国内客宿泊数	7,758,510	99.6%

近年の旅行ニーズの多様化に対応した観光コンテンツの充実や情報発信等の各種事業を展開するとともに、旅行エージェンツや交通キャリア等とタイアップした効果的な誘客キャンペーンの展開により、令和 6 年の鹿児島県延べ宿泊者数は 8,378,560 人泊、前年比増減率は 102.8%となった。

（3）フィルムコミッション活動支援事業（PR 観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県における映像製作の支援環境を整え、本県の魅力を情報発信する機会を増やすことにより、本県の更なる観光振興を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

本県における映像制作の支援環境を整えるとともに、製作支援を実施した。

支援実績

（単位：件）

	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R6 年度の主なもの
映画	11	7	9	TOKYO MER
CM	6	11	7	野菜を MOTT0, 発酵黒豆
TV 番組	23	14	13	バナナマンのせっかくグルメ
TV ドラマ	—	—	1	旅人検視官 道場修作
その他	14	8	5	シェラトン鹿児島 PV
計	54	40	35	

※上記表については、製作支援を行った総数であり、実際に本県で撮影等が行われた総数ではない。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

制作支援を行うことで、テレビ等による本県の魅力を情報発信する機会を創出し、本県の更なる観光振興に繋げることができた。

（4）修学旅行等対策事業（PR 観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

鹿児島県教育旅行受入対策協議会において、多様化する修学旅行の動向を踏まえながら、受入体制の整備を行うとともに、積極的な修学旅行誘致事業を実施する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

誘致セールスや入込状況調査などを実施している鹿児島県教育旅行受入対策協議会に対し、負担金を拠出した。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

多様化する修学旅行の動向を踏まえながら、受入体制整備に関するワーキンググループや積極的な修学旅行誘致セールス等を実施できた。

（5）かごしま「推し旅」誘客促進事業（PR 観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

本県には、本県を舞台にした作品や本県にゆかりのある人物など、「推し」となりうる観光素材コンテンツが存在することから、これらコンテンツの掘り起こし、情報発信を行うことで、各種の「推し活」を目的とした旅行を促し、県外からの誘客や県民のマイクロツーリズムの促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

鹿児島県にゆかりのあるアニメ、漫画、ドラマ、映画、芸能、歴史上の偉人、世界遺産、温泉・サウナ、レトロに関する「推し」となりうる観光素材を掘り起こし、情報発信を行った。

ア 特設サイト開設

本県における「推し」となりうる観光素材コンテンツの掘り起こし、また収集した情報をまとめた特設サイト「推しと私と鹿児島と。」の開設及び情報発信

特設サイト公開：令和7年2月25日

総PV数：10,694回（R7.3.31時点）

イ 県民募集キャンペーン

県民から「推し」となりうる観光素材コンテンツを募集するキャンペーンを実施

（ア）募集期間：令和6年11月25日～令和7年2月15日

（イ）募集媒体：X（旧Twitter）

（ウ）応募件数：205件

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

本県における「推し」となりうる観光素材コンテンツの掘り起こし及び情報発信によって、新たな旅行ニーズのひとつである「聖地巡礼」を促すツールの作成及び県外からの誘客、県内のマイクロツーリズムを促進することができた。

（6）鹿児島・佐賀相互誘客事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

「鹿児島・佐賀交流プロジェクト」の一環として、旅行会社が造成する佐賀発鹿児島着旅行商品の造成・販売支援を行うことで、佐賀県民の鹿児島旅行の機会の創出及び鹿児島観光のPRを行い、両県の交流促進を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 交付対象者

佐賀県内に事業所を持つ旅行会社

イ 対象旅行商品

- ・佐賀県内を発地とする旅行で、宿泊施設、交通機関等の手配を含めた旅行商品
- ・鹿児島県内での宿泊を伴う旅行商品
- ・令和6年4月1日から令和7年1月31日までの期間内において催行する旅行商品

ウ 助成額

5,000円/人・泊

エ 実績

3,745,000円（11社、749人泊）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

佐賀県民の鹿児島旅行の機会が創出され、両県の交流促進を図ることができた。

（7）南九州観光振興事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

南九州3県（鹿児島県・熊本県・宮崎県）が連携し、南九州観光情報発信や、修学旅行の誘致活動を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 国内対策事業

（ア）南九州地区教育旅行誘致促進事業

南九州地区教育素材説明会

南九州地区への教育旅行誘致拡大のため、各県の素材の紹介を行うと同時に、県域を越えたセールスをするこ
とにより、南九州の広域的なモデルコースの提案を行った。

・実施時期：令和7年1月31日

- ・参加者数：65人

(イ) 南九州地区教育旅行招請事業

旅行会社の教育旅行担当者を南九州3県に招請し、3県の教育旅行素材やモデルコースの現地視察を行い、教育旅行の誘致を図った。

- ・実施時期：令和7年3月4日～7日
- ・参加人数：7人（意見交換会29人（南九州3県の観光担当課及び観光関連業者等の参加））

イ 海外対策事業

(ア) オーストラリアの旅行会社を南九州3県に招聘するFAMトリップを実施し、旅行商品の造成を図った。

- ・日 程：令和6年10月25日～11月2日 各県2泊
- ・参 加 者：オーストラリア旅行会社 6社6人

台湾航空会社 1人

(イ) 台湾航空会社と連携したオンラインプロモーションを実施した。

- ・実施内容：台湾航空会社・オーストラリアのWEBサイトにランディングページを設置
ブリスベン在住の25歳～64歳で日本に興味がある人等に向けてInstagramやFacebookなどを活用した広告を配信
検索エンジンから同WEBサイトへの訪問者を増やすマーケティング（Googleを利用した検索エンジンマーケティング：SEM）を実施
- ・公 開 日：令和7年3月14日～4月14日

〈3〉施策の実施による成果（アウトカム）

ア 国内対策事業

各県の観光地の情報発信を行い、南九州広域の周遊促進が図られた。

イ 海外対策事業

オーストラリアの旅行会社2社が台湾航空会社と連携し、九州パッケージツアー商品を造成した。

3月1日～4月29日の期間の航空券予約数は熊本行きが11件、鹿児島行きが17件と、それぞれ昨年度の同時期と比べて100%増加、142.86%増加し、認知度向上及び誘客促進が図られた。

(8) 「稼げる」観光地域づくり推進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉施策の目的

地域の多様な関係者が連携した観光地域づくりの推進体制を確立し、各エリアの観光戦略に基づく観光地経営による「稼げる」観光地域づくりを推進するため、「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成、新たなマーケティングやコンテンツの造成等に対する支援を行う。

〈2〉施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光地域体制強化支援事業

地域の多様な関係者が連携し、マーケティングやデータ分析に基づき、各エリアの観光戦略に沿って観光地経営に取り組む「稼げる」観光地域づくりを推進するための組織づくりや人材育成等の支援を行った。

(ア) 県内DMOへの重点的な支援

県内の観光地域づくり団体に対し、各団体の課題に応じた専門家を派遣し、その解決や助言・指導に基づいた具体的な施策の実施などによる伴走支援を実施した。

- a 時 期：令和6年5月～令和7年2月
- b 派遣先：（一社）いぶすき観光デザイン、（株）おおすみ観光未来会議

(イ) 観光ビジネスモデルコンペティション

本県のDMO・観光協会やそれに準ずる組織のリーダー層を対象とし、地域づくりにおける課題解決を一層進める実践型学習を実施した。

- a 時 期：令和6年8月～令和7年3月
- b 参加者：延べ22人（うちオンライン4人）

(ウ) コンテンツ造成セミナー&ワークショップ

屋久島等で活動しているガイド、宿泊、飲食店等幅広い事業者を対象とした、旅行商品に係る企画、PR、販売方法について学ぶセミナー&ワークショップを開催した。

- a 時 期：令和6年10月～令和7年2月（全4回）
- b 参加者：延べ39人（うちオンライン21人）

イ 観光地域高付加価値化促進支援事業

地域の多様な関係者が連携し、観光地域の高付加価値化に取り組む団体等に対し、その取組の支援を行った。

(7) 対象となる事業

地域資源を最大限に活用し観光地としての魅力を高め、稼ぐ仕組みづくりの構築に資する事業（ハード整備事業を除く）

(i) 対象者

観光庁「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」に採択された観光地域であり、当該地域の市町村又は当該地域の観光地域づくりに参画する観光団体等

(u) 補助率・上限額

対象経費の1/2・最大3,500千円

(エ) 募集期間

令和6年6月14日～7月12日、9月13日～10月4日

(オ) 補助件数 5件

(カ) 補助対象者及び事業内容

a 出水市

グリーンスローモビリティの導入によるガイド付きツアーの実施など

b 鹿児島県ホテル旅館生活協同組合大隅支部（鹿屋市）

会員施設のPR動画作成など

c （株）Katasudde（鹿屋市）

ユクサおおすみ海の学校における自然体験、研修プログラムの構築など

d （株）小幡総業（鹿児島市）

ネット販売用商品開発及び販売強化の拡充など

e エーエフマネジメント（株）（屋久島）

縄文の宿まんてんにおける新たな宿泊セットプランの造成、マリンプルー屋久島における新たな宿泊環境の整備など

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

「観光地域づくり」に関する組織づくりや人材育成等への支援を実施した結果、各エリアにおける「稼げる」観光地域づくりの体制充実に繋がった。

(9) サイクルツーリズム推進事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

<1> 施策の目的

県内市町村及び関係団体等が連携・協力し、本県での自転車を活用した周遊観光の推進による交流人口の拡大を図る。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

ア 県サイクルツーリズム推進協議会等の開催

(7) 県サイクルツーリズム推進協議会の開催

a 日 程：令和6年7月25日

令和7年2月18日

b 内 容：モデルルートの活用、走行環境整備方針について など

(i) 県サイクルツーリズム推進協議会地域部会の開催

- a 実績：南薩地域部会・・・2回，北薩摩地域部会・・・2回，霧島・姶良地域部会・・・2回
大隅地域部会・・・2回，熊毛地域部会・・・4回

- b 内容：インバウンドをターゲットとした誘客について，地域のサイクルイベントにおける誘客促進についてワークショップを実施 など

イ F A Mトリップツアーの実施

旅行商品化に向けた課題整理や商品の造成に繋げるため，台湾，韓国の旅行会社を招聘し，県内モデルルートを実走するF A Mトリップツアーを実施した。

(ア) 台湾

- a 実施地域：南薩（南さつま市～南九州市～指宿）
- b 実施時期：令和6年12月7日～10日 3泊4日
- c 招請者：台湾の旅行会社3社

(イ) 韓国

- a 実施地域：霧島・姶良（霧島市～垂水市～鹿児島市）
- b 実施時期：令和6年12月12日～15日 3泊4日
- c 招請者：韓国の旅行会社3社

ウ 県観光サイト内ホームページの改修

- (ア) トップページに全24ルートをわかりやすく掲載

- (イ) 既存のグーグルマップに加え，ルートの高低差を把握できるRide with GPSマップを作成し掲載 など

エ 「るるぶF R E E九州沖縄山口サイクル旅&スタンプラリー」企画

九州各県の設定したサイクリングルートを周遊してデジタルスタンプを集めると，各県の特産品などが抽選で当たるデジタルスタンプラリーを実施した。

- (ア) 実施者：(株) Geolocation Technology

- (イ) 実施時期：令和6年7月12日～令和7年3月15日

オ サイクリスト動向調査

今後の施策立案に活かすため，サイクリストの属性や消費行動をアンケート調査により明らかにした。

- (ア) 実施者：(株) Bike is Life

- (イ) 実施時期：令和6年9月～12月

カ モデルルートの道路管理者別延長整理

各モデルルートについて，各道路管理者（国，県，市町村，港湾等）ごとのルート延長を調べた。

- (ア) 実施者：(株) Bike is Life

- (イ) 実施時期：令和6年8月～12月

キ サイクステーション等整備支援事業

本県のサイクルツーリズムを推進するため，自転車による観光客の利便性向上を目的に，サイクルスタンド等の整備を実施する事業者等に対し補助を行った。

- (ア) 対象事業者：県内の市町村，観光協会，観光地域づくり団体，観光関連事業者，宿泊事業者，民泊事業者

- (イ) 補助率・上限額

- a サイクステーション整備事業：サイクルスタンド，自転車専用工具等の整備費用の1/2・最大18千円
- b サイクリストに優しい宿整備事業：自転車の保管設備，自転車専用工具等の整備費用の1/2・最大50千円

- (ウ) 補助件数

1件（7か所）56千円（内訳：a 1件）

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

地域部会の開催等により県内の関係者間のネットワークが構築された。F A Mトリップツアーの実施により，台湾，韓国の旅行会社と県内関係者の協力関係が築かれ，ツアー実施後に旅行商品造成につながった。

登録実績

(単位：件)

	R4	R5	R6	計
かごしまサイクルステーション	1	11	7	19
サイクリストに優しい宿	—	6	13	19

(10) 磯新駅設置支援事業（PR観光課）

＜1＞ 施策の目的

県全体の観光の振興を図るため、関係団体及び鹿児島市等と連携し、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産がある磯地区への新駅設置に向けた支援を行う。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

磯新駅設置協議会に対し、負担金を拠出した。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

令和7年3月15日に仙巖園駅が開業し、本県観光の活性化につながった。

② 外国人観光客の来訪の促進等

(単位：千円)

予 算 科 目		予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
			国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費		167,453	47,384	—	120,069	166,509	47,384	—	119,125
内	海外誘客ステップアップ事業	99,048	43,009	—	56,039	98,344	43,009	—	55,335
	国際クルーズ船誘致促進事業	39,517	—	—	39,517	39,277	—	—	39,277
	インバウンド誘客早期回復事業	16,830	—	—	16,830	16,830	—	—	16,830
	ベトナム誘客プロモーション事業	8,750	4,375	—	4,375	8,750	4,375	—	4,375
訳	大阪・関西万博に向けたインバウンド対策事業	3,308	—	—	3,308	3,308	—	—	3,308
計		167,453	47,384	—	120,069	166,509	47,384	—	119,125

(1) 海外誘客ステップアップ事業（PR観光課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

国や九州観光機構等と連携しながら、海外でのセールスやプロモーション・メディアや旅行会社の招請等を行い、本県への外国人観光客の誘客促進や観光消費額の向上を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 直行便市場からの誘客強化

(イ) メディア等プロモーション

海外における本県の認知度向上を図るため、台湾・韓国の市場において「観光ビジネスパートナー」を起用し、SNSやWEBなどのメディアを活用した情報発信や旅行博覧会への出展など、B to Cをメインとしたプロモーションを行い、誘客促進を図った。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
香 港	Facebook, Instagram	729 回
台 湾	Facebook, Instagram	191 回
韓 国	Facebook, NAVER Blog	440 回
中 国	Wechat, Weibo	72 回

b 旅行博覧会等への出展

対象国	実施日	主な内容	備考
台 湾	令和6年6月16日～21日	訪日教育旅行個別相談会に参加	商談数 28 校
	令和6年9月4日	官民合同商談会の開催（宮崎県合同）	参加社 36 社

c B to B, B to C 向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
香 港	令和6年7月24日～28日	現地インフルエンサー及びメディアを招請し、SNS 及び雑誌による情報発信を行った。	招請人数 3 人
	令和6年11月23日～25日	現地インフルエンサーを招請し、Facebook 及び YouTube による情報発信を行った。	招請人数 1 人
台 湾	令和6年9月11日～13日	JR 九州と連携して台湾メディアを招請し、取材協力を行った。	招請人数 2 人
韓 国	令和6年11月18日～23日	自治体国際化協会ソウル事務所の情報発信	—

		事業を活用し、Facebook 及び Instagram による情報発信を行った。	
中 国	令和 6 年 10 月 15 日～19 日	県上海事務所と連携して、現地インフルエンサーを招請し、SNS による情報発信を行った。	招請人数 2 人
	令和 6 年 12 月 6 日	県上海事務所と連携して、鹿児島県観光物産シェア会を開催した。	参加人数 160 人
	令和 6 年 12 月 17 日～21 日	行楽 CHINA を招請し、WeChat 及び Weibo による情報発信を行った。	招請人数 1 人

(イ) 旅行会社等プロモーション

直行便市場に対し、現地セールスを実施し観光PRや各市場の情報収集を行うとともに、在日を含む海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換等を通じて旅行商品化の促進を図った。

a 現地セールス

対象国	実施日	訪問社数	派遣者数
香 港	令和 6 年 5 月 13 日～15 日	5 社	4 人（観光連盟含む）
	令和 7 年 2 月 20 日～23 日	1 社	3 人（観光連盟含む）
台 湾	令和 6 年 9 月 2 日～3 日、5 日	5 社	4 人（観光連盟含む）
	令和 6 年 10 月 28 日～11 月 1 日	5 社	2 人（観光連盟）
	令和 6 年 12 月 4 日～6 日	1 社	2 人（観光連盟）
	令和 7 年 2 月 13 日～15 日	5 社	1 人（観光連盟）
韓 国	令和 7 年 2 月 25 日～28 日	12 社	3 人（観光連盟含む）
中 国	令和 6 年 7 月 16 日～18 日	6 社	5 人（観光連盟含む）

b 視察受入

対象国	実施日	被招請者	視察地
香 港	令和 6 年 7 月 3 日～5 日	旅行会社 3 人	鹿児島市、霧島市
	令和 7 年 3 月 5 日～6 日	旅行会社 4 人	鹿児島市、霧島市
台 湾	令和 6 年 6 月 18 日～6 月 22 日	旅行会社及びメディア 6 人	鹿児島市、霧島市
	令和 6 年 5 月 20 日～5 月 22 日	旅行会社及び船客関係者 2 人	鹿児島市、指宿市、霧島市、南九州市、伊佐市
	令和 7 年 3 月 13 日～3 月 15 日	旅行会社及び船客関係者 2 人	鹿児島市、日置市、霧島市
	令和 6 年 7 月 19 日	旅行会社及びインフルエンサー 2 人	枕崎市、霧島市、いちき串木野市
	令和 6 年 8 月 5 日	旅行会社及びインフルエンサー 2 人	枕崎市、霧島市、いちき串木野市
	令和 6 年 11 月 19 日～23 日	旅行会社及びインフルエンサー 32 人	鹿児島市、枕崎市、日置市、霧島市、いちき串木野市
	令和 7 年 2 月 5 日	ワシントン・インターナショナルスクール台中 34 人	霧島市（教育旅行）
韓 国	令和 6 年 7 月 31 日～8 月 4 日	現地 OTA 会社 2 人	鹿児島市、日置市、霧島市
	令和 6 年 11 月 14 日～16 日	ゴルフ旅行会社 8 社	鹿児島市、霧島市、南九州市
中 国	令和 6 年 6 月 20 日～22 日	旅行会社 15 人	鹿児島市
	令和 6 年 6 月 27 日	航空会社セールス関係者 1 人	南さつま市
	令和 6 年 10 月 8 日～12 日	上海ゴルフ関係者 9 人	鹿児島市、日置市、霧島市、南九州市、始良市
	令和 7 年 3 月 14 日	旅行会社 1 人	鹿児島市ほか

イ 戦略的市場からの誘客強化

(ア) メディア等プロモーション

東南アジアや欧米豪といった戦略的市場における本県の認知度向上を図るため、SNSやWEBなどのメディアを活用した情報発信や旅行博覧会への出展など、B to Cをメインとしたプロモーションを行い、誘客促進を図った。

a SNSを活用した情報発信

対象国	発信媒体	発信回数
タイ	Facebook	49回
ベトナム	Facebook	48回
シンガポール 欧米豪	Facebook	49回

b 旅行博覧会等への出展

本県ブースを出展し、プロモーションを行った。

対象国	実施日	旅行博覧会名	来場者数
タイ	令和6年11月8日～10日	訪日旅行 FIT フェア	約6.2万人
	令和7年1月16日～19日	旅行博 (TITF)	約28万人
シンガポール	令和6年7月6日～7日	旅行博ブレイベント (Pre NATAS)	126人
	令和6年8月16日～18日	旅行博 (NATAS) への出展	約10.1万人
	令和6年10月5日	富裕層向けラグジュアリーイベント	42人

c B to B, B to C向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	備考
タイ	令和6年11月26日～29日	タイ人インフルエンサーを招請し、公式Facebook掲載用の写真や動画のコンテンツの取材及び情報発信を実施	招請人数1人
	令和7年1月	旅行社 Quality Express の旅行冊子への広告露出	ー
シンガポール	令和6年11月3日～11日	トラベルライターによる鹿児島取材への協力	取材人数1人
欧米豪	令和6年10月4日～5日	英国メディアによる本県視察への協力	取材人数1人
	令和7年3月22日～24日	フィンランドメディアを招請し、指宿市の観光情報について旅行雑誌にて情報発信	取材人数1人

(イ) 旅行会社等プロモーション

東南アジアや欧米豪といった戦略的市場に対し、現地セールスを実施し観光PRや各市場の情報収集を行うとともに、在日を含む海外旅行会社等を本県に招請し、観光地の視察や観光関係者との意見交換等を通じて旅行商品化の促進を図った。

a 現地セールス

対象国	実施日	訪問社数	派遣者数
タイ	令和6年5月26日～6月1日	15社	2人（観光連盟）
	令和6年8月19日～22日	6社	2人（観光連盟）
	令和6年11月7日～11日	5社	2人（観光連盟）
	令和7年1月15日～20日	5社	3人（観光連盟含む）
ベトナム	令和6年6月10日～16日	12社	2人（観光連盟）
シンガポール	令和6年8月15日～20日	5社	3人（観光連盟含む）
	令和6年10月2日～6日	7社	2人（観光連盟）
英・仏	令和6年11月24日～12月2日	5社	2人（観光連盟）

b 視察受入

対象国	実施日	被招請者	視察地
タイ	令和6年4月24日～28日	旅行会社1人	鹿児島市，指宿市，霧島市，湧水町，屋久島町
ベトナム	令和7年2月3日～7日	旅行会社3人	鹿児島市，指宿市，霧島市，伊佐市
シンガポール	令和6年6月27日～7月1日	ランドオペレーター社2人	鹿児島市，指宿市，霧島市，湧水町，屋久島町
欧米豪	令和6年4月20日～22日	航空会社（加）2人	鹿児島市，指宿市，霧島市
	令和6年7月10日～11日	航空会社（土）2人	鹿児島市，指宿市，南九州市
	令和6年10月8日～10日	旅行会社（英）1人 JNTO ロンドン事務所1人	鹿児島市，霧島市
	令和6年11月16日～17日	旅行会社（米）1人	指宿市，日置市，霧島市，いちき串木野市，南さつま市，南九州市

c B to B，B to C向けプロモーション

対象国	実施日	主な内容	参加社数
タイ	令和6年9月25日	九州観光機構主催「タイ旅行社との商談会」に参加	4社
ベトナム	令和6年10月24日	九州観光機構主催「ベトナム旅行社との商談会」に参加	3社
欧米豪	令和6年11月11日～15日	世界自然遺産登録地と連携した現地交流会・商談会に参加	9社
	令和7年1月28日～29日	世界自然遺産登録地と連携した商談会に参加	15社

ウ 海外交流会議観光関連事業

現地での観光セミナーや商談会等を実施し，鹿児島関連の旅行商品造成等を促進することにより，本県への誘客を図った。

(7) 台湾（屏東県交流会議）

対象国	実施日	実施内容	派遣者数
台湾 (屏東県)	令和7年1月12日	屏東大学生等を対象とした観光プロモーションを実施 屏東県主催レセプションに観光ブースを出展し，観光プロモーションを実施	4人 (観光連盟含む)
	令和7年1月13日	学校関係者向けに教育旅行説明会を実施	

(イ) 香港（香港交流会議）

対象国	実施日	実施内容	派遣者数
香 港	令和 6 年 11 月 7 日	現地旅行会社を対象とした鹿児島県観光セミナーを実施し、鹿児島県の観光コンテンツを紹介	5 人 (観光連盟含む)
	令和 6 年 11 月 8 日	・現地旅行会社を対象とした鹿児島県観光セミナーの実施に併せて、県内観光事業者との商談会を実施 ・知事主催レセプションに観光ブースを設置し、観光プロモーションを実施	

エ インバウンド需要回復に向けた情報発信

(ア) 多言語観光サイトによる情報発信強化

a 海外メディア等との連携

海外のメディアへ記事を投稿することで、観光サイトへの誘導及び予約の増加を図った。

b コンテンツ充実のための取材・撮影

取材・撮影を通して、定期的に情報の更新を行うほか、より多くのユーザーをサイトに誘導する（SEO）対策を実施した。

c コンテンツ充実のための翻訳

日常的に発生する情報の更新に係る翻訳を行い、最新の情報を掲載した。

言語数：5 言語（英語、韓国語、簡体字、繁体字、ベトナム語）

d 観光サイトの保守管理及び改修

各言語における特集ページの新設、観光情報の追加等を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

香港・台湾・韓国・中国・タイ・ベトナム・シンガポール・欧米豪を中心に、J N T O や九州観光機構等と連携しながら、海外現地でのプロモーションを実施したほか、現地メディア及び旅行会社と連携した各種事業を実施し、本県への誘客促進が図られた（対前年度比：韓国 220.3%，中国：264.3%，香港：158.0%，台湾：187.1%，シンガポール：151.0%，タイ：136.3%，ベトナム：211.0%，アメリカ：139.4%，その他：132.7%）。

また、多言語観光サイトの情報発信強化によって同サイトへのアクセス数が増加した。

多言語観光サイトへのアクセス数（単位：回）

R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
142, 599	457, 759	1, 027, 527	1, 176, 481

(2) 国際クルーズ船誘致促進事業（PR 観光課）（地方創生関連事業）

＜1＞ 施策の目的

クルーズ船の本県への更なる誘致を図るため、本県へのクルーズ船寄港の増加・定着化に向けたプロモーション等を戦略的・一体的に展開する。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 現地セールス活動

本県へのクルーズ船寄港の増加・定着化に向け、クルーズ船社や旅行会社等へのセールス活動等を行った。

実 施 日	相 手 方
令和 6 年 4 月 18 日～19 日	船社
令和 6 年 6 月 4 日～6 日	旅行会社
令和 6 年 7 月 16 日	船社
令和 6 年 8 月 19 日～20 日	船社、旅行会社

令和 6 年 8 月 30 日	旅行会社
令和 6 年 9 月 19 日～20 日	船社，旅行会社
令和 6 年 11 月 1 日	船社
令和 6 年 11 月 14 日～15 日	〃
令和 7 年 1 月 30 日～31 日	〃
令和 7 年 2 月 17 日～20 日	旅行会社
令和 7 年 3 月 4 日	船社
令和 7 年 3 月 18 日～19 日	船社，旅行会社

イ 船社等視察受入

実 施 日	訪 問 先
令和 6 年 5 月 16 日～17 日	鹿児島市・日置市・霧島市
令和 6 年 7 月 22 日～26 日	西之表市・南種子町・屋久島町
令和 6 年 8 月 7 日～9 日	出水市・鹿児島市・霧島市・湧水町
令和 6 年 10 月 16 日	鹿児島市・霧島市
令和 6 年 10 月 28 日～30 日	鹿児島市・指宿市・霧島市・南九州市
令和 6 年 11 月 20 日～21 日	鹿児島市
令和 6 年 12 月 16 日～18 日	出水市・薩摩川内市・鹿屋市
令和 7 年 1 月 29 日～30 日	霧島市・薩摩川内市
令和 7 年 3 月 19 日～20 日	鹿児島市・日置市・霧島市・薩摩川内市

ウ クルーズ船社等イベントへの参加

実 施 日	開 催 地	主な活動内容
令和 6 年 7 月 14 日～15 日	東京都	ブースを出展し，船社及び一般向けに鹿児島の魅力を P R
令和 6 年 9 月 11 日～12 日	スペイン	国内連携港と合同でブースを出展し，船社に鹿児島の P R と各連携港を周遊するクルーズ造成を提案
令和 7 年 2 月 10 日	山口県	下関市主催のシンポジウムに参加し，鹿児島県の取組を P R
令和 7 年 2 月 10 日	東京都	東京都主催のクルーズセミナーに参加し，船社や旅行会社と意見交換を実施

エ ドルフィンポート跡地管理

シャトルバス停留所となっているドルフィンポート跡地の草刈り（夏，冬）及び台風 10 号支障木撤去・枝葉等回収を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウカム）

寄港数の増加・定着化に向けて，国内外の船社等にセールスや情報発信を行ったことにより，寄港地及び観光地としての本県の認知度維持・向上が図られた。

県内各港クルーズ船入港実績

（単位：回）

港 名	R4 年	R5 年	R6 年
鹿 児 島	3	82	105
志 布 志	1	—	—
里	—	1	2
長 浜	—	—	1
中 甕	—	2	1
蘭 牟 田	—	1	2
西 之 表	—	1	3

宮 之 浦	18	13	19
名 瀬	9	17	11
古 仁 屋	—	1	4
湾	—	3	2
平 土 野	—	1	—
和 泊	—	—	—
伊 延	—	2	1
与 論	—	1	—
計	31	125	151

(3) インバウンド誘客早期回復事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

チャーター便等への支援を通じて、定期便運航の再開及び本県のインバウンド早期回復に取り組む。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 直行3路線チャーター及び復便時における支援

香港、台湾、中国の直行3路線の定期便運航再開等における、現地旅行会社や航空会社が行うプロモーションや送客等への助成を実施した。

(ア) 旅行会社への支援

- a 中国東方航空の利用促進を図るため、本県への送客実績に応じた旅行会社への助成を実施した。

実施期間：令和6年10月～令和7年1月

- b 香港航空の利用促進を図るため、香港の主要旅行会社を招請し、本県のツアー造成に係る支援を実施した。

実施期間：令和7年2月28日～3月3日

場 所：鹿児島市、指宿市、霧島市

(イ) 航空会社への支援

- a チャイナエアラインの利用促進を図るため、デジタルプロモーションを実施した。

実施期間：令和6年9月～10月

- b チャイナエアラインの利用促進を図るため、訪日・九州に関心を高めている半導体関係者に対して、鹿児島デスティネーションセミナーを同社と共催で実施した。

実施期間：令和7年3月20日

場 所：台湾新竹市

〈3〉 施策の実施による成果（アウトカム）

現地旅行会社や航空会社への支援を実施した結果、定期便運航の再開及びインバウンドの早期回復が図られた。

中国：令和6年7月再開（インバウンド対前年比：264.3%）

香港：令和6年3月再開（インバウンド対前年比：158.0%）

台湾：令和6年5月再開（インバウンド対前年比：187.1%）

(4) ベトナム誘客プロモーション事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

〈1〉 施策の目的

ベトナム航空チャーター便に合わせ、インバウンドに対する支援を実施し、旅行商品の販売促進を図る。

〈2〉 施策の実施状況（アウトプット）

ア 現地セールス

実施日	主な内容	派遣者数
令和6年11月11日～14日	鹿児島ーハノイチャーターに向けた現地旅行会社向けセミナーを実施	2人（観光連盟）
令和7年3月26日～30日	鹿児島ーハノイチャーターを活用した現地セールスを実施	6人（観光連盟含む）

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

ア 令和6年12月30日に鹿児島ーハノイ2Wayチャーター便を運航

販売実績

- ・鹿児島⇒ハノイ：131／150席
- ・ハノイ⇒鹿児島：96／150席

イ 令和7年3月26日に鹿児島ーハノイ2Wayチャーター便を運航

販売実績

- ・鹿児島⇒ハノイ：44席／150席
- ・ハノイ⇒鹿児島：150席／150席

(5) 大阪・関西万博に向けたインバウンド対策事業（PR観光課） 〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

日本国際博覧会協会が令和6年度に開設した万博特設ページにおいて、本県の観光情報の発信を行うとともに、本県のウェブサイトにおいても、同様の内容の発信等を行い、本県への誘客を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

万博特設ページにおいて、より多くの体験コンテンツを掲載し本県への誘客を図るため、本事業の事務局を設置し、商品の申請、翻訳及び登録等のサポートを行った。また、万博特設ページに登録された商品は、県観光サイトでも掲載し、情報発信を行った。

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

万博特設ページ商品掲載実績（令和7年3月31日時点）

- ・日本語：10商品
- ・英語：10商品
- ・簡体字：2商品
- ・繁体字：3商品
- ・韓国語：2商品

③ スポーツキャンプ等の誘致

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	193,273	—	90,000	103,273	110,349	—	90,000	20,349
内 訳	スポーツ観光王国か ごしま確立事業	—	—	9,585	8,684	—	—	8,684
	ジャパンアスリート トレーニングセンタ ー大隅施設管理運営 事業	—	90,000	7,125	97,125	—	90,000	7,125
	ジャパンアスリート トレーニングセンタ ー大隅大規模修繕事 業	—	—	86,563	4,540	—	—	4,540
計	193,273	—	90,000	103,273	110,349	—	90,000	20,349

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅大規模修繕事業 翌年度への繰越額 82,022 千円

(1) スポーツ観光王国かごしま確立事業（スポーツ振興課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

スポーツを通じた観光客の増加を図るため、官民一体となってスポーツキャンプ・大会誘致を行うとともに、参加者・観客への本県観光PRに取り組む。

＜2＞ 施策の実施状況(アウプット)

ア スポーツキャンプ対策県連絡会の開催

	開催期日	主 な 内 容	参加者数
第1回	令和6年6月17日	・ 令和5年度スポーツキャンプ・合宿状況調査結果について ・ 各市町村の施設整備・改修の状況について ・ 本県で開催予定の大規模スポーツ大会について	49人
第2回	令和6年11月7日	・ 講演「スポーツ合宿誘致と受入について」 「スポーツツーリズムについて」	30人

イ スポーツ合宿等の誘致・受入強化

(ア) かごしまスポーツ合宿セミナーの実施

関西地域・九州地域を対象とし、スポーツキャンプ・合宿の誘致セミナーを大阪市と福岡市で2回開催した。

(イ) スポーツ合宿等誘致・受入に係るホームページの運営

スポーツ合宿に係る公式HP及び公式LINEアカウントを活用し、より効果的かつ円滑なスポーツキャンプ・合宿等の誘致・受入体制づくりを推進した。

ウ 本県でキャンプを行うプロスポーツチーム等に対する激励品の贈呈

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
プロスポーツチーム等受入団体数	13団体	22団体	25団体	32団体	29団体

エ 本県でキャンプを行うプロスポーツチームの情報発信

(ア) キャンプ情報案内所の設置

- ・ 期間：令和7年1月14日～2月16日
- ・ 場所：鹿児島空港国内線ターミナル(1階到着ロビー横)

(イ) 「かごしまプロスポーツキャンプ電子ガイドブック紹介カード」による周知

- ・ 期間：令和7年1月14日～2月16日

- ・場所：鹿児島空港国内線ターミナル，鹿児島中央駅，県内ホテル 等

(ウ) 課公式Instagram「すぽかご」を活用した「かごしま春季キャンプ応援キャンペーン」等の実施

- ・期間：令和7年1月14日～2月16日
- ・応募者数：127件

＜3＞ 施策の成果(アトカム)

県内で実施される春季プロスポーツキャンプ等の周知を図ることにより，交流人口の拡大や地域活性化に寄与した。

県外からのスポーツキャンプや合宿の延べ宿泊者数については，157,940人泊と過去3番目に多く，鹿児島国体・大会や南部九州高校総体という特殊な年度を除くと，コロナ禍以前に最多であった平成30年度の152,536人泊を超えた。

【スポーツキャンプ・合宿の受入状況】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延べ宿泊者数（人泊）	45,945	62,692	115,952	246,695	157,940
対前年度比増減（％）	△71.4	36.5	85.0	112.8	△35.98
対前年度増減数（人泊）	△114,627	16,747	53,260	130,743	△88,755
実人数（人）	7,257	12,245	21,341	72,807	28,458
団体数	383	574	860	1,436	1,111

(2) ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅施設管理運営事業（スポーツ振興課）

＜1＞ 施策の目的

スポーツ合宿等の実施により，大隅地域における交流人口の拡大や地域活性化を図るため，トップアスリート等の合宿誘致・受入及び施設維持管理等を行う。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

スポーツ合宿等を実施し，大隅地域における交流人口の拡大や地域活性化を図った。

ア 事業内容

ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の管理運営の委託（指定管理者：ニチカ・スクウェア・ミストノ共同事業体）

イ 利用状況

利用者数 55,066人

ウ ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅連絡会

実施日：令和7年3月（書面開催）

内 容：令和6年度の利用実績・令和7年度の利用見込みの報告，東京2025世界陸上について，アジア競技大会について，「JAAF認定陸上トレーニングセンター」の申請について，投てき練習場の修繕についての意見交換

＜3＞ 施策の成果(アトカム)

ア 主な成果

施設利用者については，年間55,066人で，対前年度比10%増となった。

イ 令和6年度の主な利用者

令和6年度は，日本記録保持者，日本選手権3位以内，直近2大会オリンピックパラリンピック世界大会の日本代表など以下の選手をはじめとするトップアスリートが57人利用した。

泉谷 駿介 選手（パリオリンピック 110mH日本代表）

村竹ラシッド選手（パリオリンピック 110mH日本代表）

福部 真子 選手（パリオリンピック 100mH日本代表）

田中 希実 選手（パリオリンピック 5,000，1,500m日本代表）

山本 篤 選手（パリパラリンピック 走り幅跳び日本代表）

(3) ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅大規模修繕事業（スポーツ振興課）

＜1＞ 施策の目的

日本最高水準の陸上競技に特化したトレーニング施設としての機能を維持するため、個別施設の長寿命化計画に基づく修繕を行う。

＜2＞ 施策の実施状況(アウトプット)

ア 投てき練習場の集積土篩い作業に伴う設計委託（工事は令和7年度実施予定）

イ 写真判定装置の修繕

＜3＞ 施策の実施による成果(アウトカム)

日本最高水準の陸上競技のトレーニングに特化した施設として、より一層の受入体制の強化を推進した。

(4) オール鹿児島でのおもてなしの推進

① 全ての観光客がストレスなく快適に観光できる環境の整備

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	15,827	6,202	—	9,625	15,825	6,202	—	9,623
内 外国人観光客受入体制整備事業	15,827	6,202	—	9,625	15,825	6,202	—	9,623
計	15,827	6,202	—	9,625	15,825	6,202	—	9,623

(1) 外国人観光客受入体制整備事業（PR観光課）〈地方創生関連事業〉

＜1＞ 施策の目的

国や九州観光機構等と連携しながら、鹿児島を訪れた海外の観光客が快適に周遊できるように、観光案内所の整備やガイドの育成、講習会の開催などの受入体制の整備を図る。

＜2＞ 施策の実施状況（アウトプット）

ア 観光案内の実施

国際観光振興機構の「J N T O認定外国人観光案内所」（外国人のための外国語による観光案内所）とタイアップして、外国人観光客の利便を図るための観光案内、情報提供を行った。

- ・ J N T O認定外国人案内所：23 か所（R7.3 末時点）

イ 全国通訳案内士試験セミナー開催

外国語で観光案内を行う全国通訳案内士（国家資格）になるための試験概要や資格についての説明を行うとともに、現役の通訳案内士による講演等を実施した。

- ・ 実 施 日：令和6年6月15日
- ・ 参 加 者：25人

ウ 通訳ガイド有資格者レベルアップ研修セミナー開催

本県における外国人観光客の受入体制の整備充実を図る一環として、全国通訳案内士（国家資格）等のレベルアップに向け、座学講習及び実務研修を実施した。

- ・ 実 施 日：令和6年7月～8月（座学3回、実務1回）
- ・ 参 加 者：延べ39人

エ 外国人観光客受入体制推進講習会の開催

(ア) インバウンド誘致における誘客戦略や受入体制の現状について、インバウンド研修会を実施した。

- ・ 実 施 日：令和6年7月4日
- ・ 参 加 者：79人

(イ) 外国人観光客の受入環境の改善や課題解決に向けて外国人観光客受入体制推進講習会を実施した。

- ・ 実 施 日：令和6年9月11日
- ・ 参 加 者：66人

オ フードダイバーシティセミナーの実施

ムスリムやベジタリアンなど多様な文化、習慣を持つ外国人旅行者が安心して「食」を楽しむとともに、快適に滞在できる受入環境の整備を推進するためにセミナーを実施した。

- ・ 実 施 日：①令和7年3月3日、②令和7年3月12日
- ・ 参 加 者：①53人（一部オンライン）、②38人（一部オンライン）

カ 多言語コールセンターの運営

本県を訪れた外国人観光客が快適に周遊できるよう、多言語コールセンターを設置し、24時間365日対応の電話通訳サービスを提供した。

- ・ 開 設 日：平成30年7月27日
- ・ 対 象：宿泊施設、観光案内所、観光施設、交通事業者、飲食店、小売店、医療機関、警察及び外国人観光

客

- ・毎月平均の利用件数

R4 年度	R5 年度	R6 年度
10 件	27 件	25 件

キ 観光多言語パンフレットの作成

本県への外国人観光客誘致を図るため、外国語パンフレットを作成した。

- ・英語
- ・韓国語
- ・中国語（繁体字）
- ・中国語（簡体字）
- ・タイ語

＜3＞ 施策の実施による成果（アウトカム）

観光案内所の整備やガイドの育成，講習会の開催などにより，受入体制の整備向上が図られた。

16 原油価格・物価高騰等総合緊急対策

(1) 原油価格・物価高騰等総合緊急対策

(単位：千円)

予 算 科 目	予 算 額	財 源 内 訳			決 算 額	財 源 内 訳		
		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源		国 庫 支 出 金	そ の 他 の 特 定 財 源	一 般 財 源
観 光 費	91,681	91,681	—	—	54,836	54,836	—	—
内 地域公共交通燃料油 訳 価格高騰対策事業	91,681	91,681	—	—	54,836	54,836	—	—
計	91,681	91,681	—	—	54,836	54,836	—	—

地域公共交通燃料油価格高騰対策事業 翌年度への繰越額 24,545 千円

(1) 地域公共交通燃料油価格高騰対策事業（PR観光課）

<1> 施策の目的

燃料油価格高騰により厳しい経営環境にある貸切バス事業者に対し、燃料油購入の負担軽減を行い、引き続き事業継続がなされるよう支援する。

<2> 施策の実施状況（アウトプット）

- ・ 申 請 数：117 件
- ・ 補 助 数：117 件
- ・ 助成金額：40,981,300 円

<3> 施策の実施による成果（アウトカム）

貸切バス事業者に対し燃料油購入の負担軽減を行い、引き続き事業継続がなされるよう支援することができた。